



五稜



第41号 (平成13年度)
函館市立五稜中学校生徒会

五稜中学校校歌

小島 昌平 作詩
酒井 武雄 作曲

J-108-112



一
 一人がしに 志城のふりて
 ただなわの五稜が丘に
 若人の息吹きい満ちぬ
 形もたふもなきたれ
 新しき光に立ちて
 大いなる力付はらん

二
 さくら花 しとしと仰ぎ
 友がの堅く結びて
 うら島より自主の鐘の音
 ひびく(いまのこころを胸の
 糸はゆく理想の空
 ありよまにわれら守えられ

行事から ~Part 1~



入学式



入学式



部活紹介



対面式



校内体育大会



校内体育大会



亀田川清掃



校外清掃

行事から ~Part 2~



中体連総合大会（野球）



中体連陸上壮行式



中体連総合大会（剣道）



中体連総合大会（卓球）



中体連総合大会（バドミントン）



中体連総合大会（柔道）



ノーマリー教室



宿泊研修

修学旅行



中尊寺



休憩



手づくり村 (絵皿)



げいび溪



手づくり村 (藍染)



手づくり村 (わら細工)



岩山パークランド



体験学習 (漆塗り)

文化祭



合唱コンクール



私の主張



吹奏楽部演奏



生徒会企画



PTAゲームコーナー



40周年記念式典



学年館

グラビア写真

巻 頭 詩	1
開校40周年を迎えて	学校長 佐野 武 2
家族会議を開いていますか	PTA会長 近藤 和行 3
人を大切にする心	教頭 山本 俊秀 3
生徒会テーマ&ポスター	4
生徒会新総務 ～この一年にむけて～	5
生徒会旧総務 ～一年をふりかえって～	7
生徒会一年のあゆみ	9
専門委員会 ～活動報告～	12
卒業生へ贈る言葉	18
卒業生へ	23
在校生へ	24
部 活 動 一年間の活動記録	25
栄誉を讃えて	32
思い出をこのページに残して	33
修学旅行記	40
宿泊研修記	44
学級プロフィール ～1・2年～	46
校外学習体験記	50
文 苑	53
・意見文	
・読書感想文	
・俳 句	
・短 歌	
・川 柳	
教職員名簿・写真	62
編集後記	63



歩 み

三年〇組 笠 井 奈津紀

ときどき壁にぶつかって
何をしてもだめな時がある
どうしたらいいかわからなくなる
楽しいことも忘れてしまう時がある
つらくて涙が出る時もある
でも私は知っている
それが私を強くし、成長させる
たくさんのめぐまれていることに気がつく
その時つらくても
いつか乗り越えられる
だから私は
これから先、また壁にぶつかっても
多分大丈夫



開校四十周年を迎えて

学校長 佐野 武

昨年は夢と希望を託した二十一世紀の幕開けの年だった。しかし、大阪教育大学附属池田小学校における児童殺傷事件や九月の世界の人々を震撼させた米国の同時多発テロ事件の発生など、国内外ともに深く心を痛め、暗い世紀の幕開けとなった。

本校にとっては一つの節目となる開校四十周年を迎え、五十周年に向け資料整備をかねて記念誌を発刊し、十月に行われた文化祭では金山教育長様をはじめ歴代校長先生のご出席をいただきささやかに記念式典を挙行することができた。

振り返ってみると本校の開校は、昭和三十年代、白鳥町、田家町の人口が急増したことがきっかけとなり、昭和三十六年四月、大川中学校、中央中学校（現凌雲中学校）の二校に分かれて間借りし、函館市立大川中学校田家分教場として誕生した。初代校長は沼山吉之助先生で、生徒数は第一学年のみで三百四名の七学級の編制、教職員は十一名による出発だった。

昭和三十六年十二月には関係者のご努力により、現在地に念願の第一期工事を終えた独立校舎が完成し、その後、第五期の工事を経て現校舎の基礎が昭和四十年十二月に完成した。

この間、厳しい試練を乗り越え生徒たちの努力と意欲溢れる教職員の熱心な指導のもとで学習に励み、文化活動や中体連で素晴らしい成果を取っている。今年度の函館市中体連総合大会では野球部、柔道男子個人戦、剣道女子個人戦で優勝、文化面でも吹奏楽部が金賞受賞、英語部門でも暗唱大会、弁論大会で上位入賞するなど先輩が築いてきた本校の輝かしい校風と伝統は今なお受け継がれている。

ここで、草創期から今日まで本校の教育にご尽力いただいた先輩校長・教職員そしてPTA役員など関係者の皆様にご心から敬意を表するとともに心から感謝を申し上げたい。

昭和四十年前後は約九百名近くあった生徒数も現在は、百九十名余で本校にも少子化の波は押し寄せてきている。

今年四月から完全学校週五日制が導入され、新しい時代にふさわしい教育の在り方を示した学習指導要領が全面的に実施される「教育改革元年」である。混乱する時代の中で教育に今求められていることは、次代を担う子供たちが、「生涯学習の基礎」としての基礎的・基本的資質・態度や一人一人が自らの責任で考え、判断し、選択し、行動する力を身に付けることである。

今は亡き二代目校長藤川先生が「時は流れ、人は変わっても、伝統は生き続け、学校はそしてその教育は永遠に続く」と述べておられるように、この節目を契機に、これまで諸先輩が培ってきた本校の輝かしい校風と伝統を大切に、教職員そして家庭、地域と一体となり、本校教育のさらなる充実発展のために誠心誠意取り組み覚悟である。



家族会議を開いてますか

PTA会長 近藤 和行

我が家では子供たちの成長につれ、各々の生活リズムの違いから家族全員でそろって食事がとれる時間が年々少なくなってきた。それにつれ家族のコミュニケーションも減ってきた。家族の中の小さな不満はあっても、それを言う機会もないまま、いつのまにかストレスが大きくなりしばしば問題化することがあった。そこで時間を調整し年に数回不定期に夫々が抱えている問題を提起し各自の意見を出し合う場を持つことにした。以来、親子、兄弟の上下関係の垣根を取り払い自由に気持ち伝え合う貴重な時間となった。

家族会議では、うまくいっていること、いっていないことを心おきなく発言出来る。悩みごとを話し合って解決策を提供できるうえに、家庭内でのいいこと、改善したいことも話し合える。話し合いの場をもつことは健全な家庭生活の基盤であり、家庭の中で何が起きているのか、誰がどう感じているのか話し合い、お互いにもっと理解を深めることができる。意外と親や、子供たちの知らなかった部分を発見することもある。家族会議はそれぞれの不満を言い合うだけでなく、お互いへの愛を表明する絶好の場である。小さいことが大きなストレスに育つ前につみとる場でもある。このことが一番大切なことかと思う。

今の多忙な社会の中で各々が貴重な時間を裂くことは難しい面もあるが、それ以上に家族の一体感を与えてくれるもので、とても意義あるものと考えており、今後も続けていきたいものだ。是非みなさんも取り入れてみてはどうでしょうか。



人を大切にすること

教頭 高橋 登

輝かしい二十一世紀が幕を開けて一年が経過した。しかし、期待された新世紀スタートの年は、米国ニューヨーク市の国際貿易センタービルが破壊されるという前代未聞のテロ事件が世界を震撼させ、国内においても、大阪池田小学校で白昼の児童殺傷事件が起こるなど、明るいニュースの少ない一年であった。卒業生の皆さんはこれらの出来事をどう受けとめ、何を思ったであろうか。

今、人生最初の岐路に立った皆さんは、自らの力で、これからの厳しい二十一世紀を逞しく生きていかなければなりません。人間である以上、誰もが「平和」をそして「幸せ」を願わない人はいないでしょう。それでは、あなたにとって幸せな人生とはいったいどんなことだと思えますか？という問いに、諸君は何と答えますか。健康であること。裕福な生活ができる。自由な生き方ができる…ある先生が、自分なら迷わずこう答えると言っていました。それは「人間にとって幸せな人生とは、人から大事にされることだ」親からも子どもからも、近所の人からも大切にされ、大事にされる人生は幸福そのものだ。そして、そのためには、まず「自分が人を大切にすること」、幸せな人生とはこうして表現できるものだ。

諸君がこれから歩んでいく道は、楽な道のりばかりではないと思います。辛いことや苦しいことが幾多も待ちうけていると思いますが、それらの試練を自らの力で乗り越え、自分の人生を切り拓いて進んでほしい。そして、ほんとうに幸せな人生をつかめるように「人を大切にすること」を忘れず力強く歩んでほしい。

平成13年度 生徒会テーマ

Goryo with fighting spirit

— 闘志を燃やせ —



3年B組 及川朋美



2年C組 渡辺清美



1年A組 笹谷琴恵

生 徒 会 新 総 務

～ この一年にむけて ～

会 計	書 記	副 会 長	会 長
木 野 高 山 片 吉 伊 佐 口 橋 田 桐 田 藤 瑞 賢 綾 拓 奈 幸 祐 紀 清 花 郎 美 博 樹			

新生徒会総務



会長として

会長 伊藤 祐樹

僕が会長になった理由は、前の会長の活動の様子を見ていたことがきっかけだった。会計になったからといってさほど仕事が多いわけでもなく別に大変ではなかった。

だけど、そんな中でも仕事の多い会長がそれらの仕事をこなしていくのをすごいと思いながら見ていた。

実際会長になってみるとその大変さがよく分かり、こんな大変なことをやっていたんだと改めて実感させられた。部活との両立も難しく、生徒会の活動を優先して部活を友達にまかせっきりになることも時々ある。

でも、これからもっと大変なことがあるかもしれないし、部活に出てるひまがないほど忙しくなるかもしれない。けれどそういうことをこなしてがんばっていききたいと思う。

ただでさえ今年はいろいろなことが重なって活動が多い年だから今までよりがんばりたいと思う。

それに、前の生徒会の時にも取り組むことができなかった募金活動やベルマーク収集を今回こそ取り組みたいと思っている。

今は、さほど大きな活動もなくピンチに立たされるようなこともないだろうけど、気をぬいたりしないで会長として生徒全員を引っばっていきけるようにしたい。

会長になったばかりで頼りなく、会長としての威厳も何もないこんな僕ですが、これからどんどんがんばっていくのでよろしくお願ひします。

◎ 生徒会副会長になつて

副会長 吉田 幸博

ぼくは今まで自分から何でもやろうとする積極性が全くと言っていいほどありませんでした。しかし、この生徒会の一員になつてから少しずつ何でも責任を持つてやってみようという気持ちが出てきました。それに、生徒会はとても大変そうだけれういやな印象がありました。それが、実際はそうでもなく、明るく楽しく、とてもやりがいのある良い仕事だと思いました。

これから新生徒会として一生懸命この五稜中を盛り上げていこうと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

◎ 副会長として

副会長 片桐 奈美

私は、総務の一員として他のメンバーと生徒会を作りあげていく上で、生徒会副会長としての自覚を持ち生徒会活動に対する関心を高め、より充実した活発な学校生活の実現や、学校全体の向上を目指していきたくと思っています。

そして、実りのある成果を得られるよう自分の出来る範囲で精一杯頑張るので、総務のメンバーや皆さん、先生方、ヨロシクお願いします。

◎ 生徒会に入つてみて

書記 山田 拓郎

ぼくは生徒会に立候補し当選して、今生徒会に入つて見て前の自分とは違うものを見つけたことができました。それは「やる気」です。今はやる気が出てきて、何事にも積極的に取り組むことができると思っています。生徒会のみんなもぼくと同じだと思います。ぼくは書記としての責任をもち、生徒会のみんなや生徒全員と協力し合えるような学校、そんな学校に行きたいのでどうぞよろしくお願ひします。

◎ 生徒会書記となつて今思う事

書記 高橋 綾花

私は此の度、新生徒会の書記として、五稜中の生徒の代表という責任のある重要な役割を任される立場となりました。

今はまだ自覚が足りなく、頼りない私ですが、これから新生徒会のメンバーの方々や、先生方と協力し、活動を進めていくうち、少しでも、できるだけ自分の中の何かが変わつていけるだろうと思っています。

そして、旧生徒会の先輩方が五稜中を支えて下さっていたので、今度は私達新生徒会で、より良い五稜中を目指してがんばります。

◎ 僕の気持ち

会計 野口 賢清

僕は、なぜ生徒会に入つたかと言うと、やっぱり、この五稜中学校を、もつと、もつと良くしようと思つたからです。だから、今までの先輩達が残っていた歴史を受けとめて、これからの歴史を、自分達が作るんだと僕は思います。僕は、この「五稜三訓」を先輩に教えられるようにならなければなりません。だから僕は、今の先輩達と、先頭に立てるよう、努力します。在校生と一丸となって、新たな歴史を作りたいと思います。

◎ 会計になつて

会計 木佐 瑞紀

私は、最初に生徒会に入つた時は、実感もなくこの五稜中学校をちゃんとまとめていけるのか不安でした。今もその不安があることに変わりはないけれど、いろんな仕事が増えて忙しくなつて「がんばらなきゃ」という気持ちです。私が生徒会に入つたことで学校全体がまとまっていっただけいいなあと思っています。これからは、行事などでどんどん活やくして、全校みんなが学校生活がとても楽しいと思つてくれたらいいなあと思います。

生 徒 会 旧 総 務

～ 一年をふりかえって～

会 計	書 記	副会長	会 長
渡 辺 結 衣	伊 藤 祐 樹	大 塚 真 衣	石 川 洋 平
		多 田 莉 彩	寺 内 真
			藤 島 直 哉

旧生徒会総務



任期を終えて

会 長 藤 島 直 哉

僕が会長になってから一年が経ち、前期生徒会の任期を終えました。この一年を振り返ってみると、本当にたくさんのことを考えさせられました。自分の可能性を信じ、「素晴らしい校風を作っていこう。」そう思い会長として一年間、これまで頑張ってきましたが何度もくじけそうになり、何度も落ち込みました。その度に僕に勇気をくれたのは、友達や先生たちでした。集会の挨拶で失敗し、落ち込んでいた時も、「気にすんな」「よかったよ。」などと、いつも先生や友達が励ましてくれました。この何気ない一言が、僕に大きな勇気を与えてくれました。僕がこの一年、くじけずにやってこれたのも、周りの人たちの支えがあつてこそだということに初めて気がつき、それと同時に、感謝する心を自然と学ばされていきました。自分の可能性を開花させてくれる人もいれば、自分の無力さを教えてくれる人、将来の夢を示してくれた人もいました。この中学校生活三年間は、自分にとって、本当にプラスになったと思います。

最後に、この一年間、生徒会活動をするにあたって、サポートしてくれた多くの人たちへ、ありきたりの言葉だけど感謝の気持ちをこめて、「ありがとう」という言葉を伝えたいです。そして僕たちの意志は、きっと新生徒会総務の人たちに受け継がれていくと思います。

新生徒会総務の七人へ。これから一年、君たちの底力、生徒会魂を存分に見せつけて、今よりも、もっと素晴らしい学校を築き上げていって欲しい。頑張ってください。

回 生徒会副会長を終えて

副会長 寺内 真

副会長に就いてから一年が過ぎました。今になってみると、本当にあつという間でした。少し寂しい気もするけれど、「生徒会協議会」・「プロロック会議」という言葉を耳にするの懐かしい気持ちにもなります。僕は少しぬけたところがあつて、周りの人や先生に迷惑をかけてしまいました。こんな自分が無事任期を終えることができたのも先生方や皆のおかげです。心から感謝します。

生徒会活動を通して、たくさんの経験をし、学ぶことができました。これからの人生に向けて、大きな力になると思います。

回 生徒会副会長を終えて

副会長 多田 莉彩

生徒会副会長になってから、早くも一年がたちました。私にとつてこの一年間は、とても充実していたと思います。初めは、とまどつてばかりで何をしたらいいのかわからず、総務の人達に迷惑をかけっぱなしでしたが、たくさんの方の行事を終えていくとともに、自分自身に「自信」がついたように思えます。生徒会の行事は、決して楽ではありませんが、やってみると楽しい事もたくさんあります。これからも、この経験を生かし、頑張つていこうと思います。最後に、新生徒会のみなさん頑張つて下さい。

回 やりとげた喜び

書記 石川 洋平

書記として過ごしたこの一年は、忙しくて大変な事も多かったけれど、充実していても楽しかったです。一番の思い出は、文化祭です。四十周年ということもあり、企画も多く準備が大変でした。しかし、やりとげた達成感は何ものにも変えられない喜びでした。

新総務も、これから大変な事が多いと思いますが、この困難を乗り越え、達成感を味わってほしいと思います。最後に、僕が書記として頑張ったのは、佐藤先生のお陰です。ありがとうございました。

回 生徒会書記を終えて

書記 大塚 真衣

二年の後期、書記に当選してから一年が過ぎました。振り返ると大変だった事や、つらかった事もありましたが、全てが充実して、良い思い出だったと思います。会計からの引き継ぎのようでしたが、一年生の頃とは、また違う、中心となって動くという意味で、多くの経験をしたと思います。長いようで、短かったこの一年間は、何よりも自分自身が成長できていればいいなと思っています。最後に、今後は新しい総務の皆さん頑張つて下さい。この一年間、本当にありがとうございました。

回 生徒会会計を終えて

会計 伊藤 祐樹

ついこの前に、生徒会の会計としても任期を終えた。思えばこの任期の間の一年は、時間が経つのがあつという間だった。

一年ぐらい前の会計になった時は何をしたらいいかわからない状態でした。でも、先生や先輩方がいてくれたおかげでここまでがんばることができました。

これからは、会長としてちゃんとやっついていけるように自分なりの目標をもって、その目標を達成できるようにがんばっていきたいと思う。

回 あつという間の一年間

会計 渡辺 結衣

去年、生徒会に任命されたと思っていたのに、もう一年が過ぎてしまいました。生徒会の仕事は大変でしたがとても楽しく、いい経験をさせて頂きました。こんな私が学校のために役立てたのかわかりませんが、本当に楽しかったです。今回、色々あつて総務を去りました。これからは、新生徒会のみなさん方で、この五稜中学校をより素晴らしくしてくれることを信じて、応援していきたいと思っています。

平成13年度

生徒会一年のあゆみ



もうじき今年度も終わりを迎えようとしています。皆さんにとって今年一年はどうだったでしょうか。部活動に力を入れた人、勉強に専念した人など様々な人だと思えます。三年生にとっては進路決定の重要な年に、一、二年生にとっても、次の学年への飛躍の年になったと思います。

このページでは様々なできごとがあった今年一年の生徒会活動について、振り返ってみたいと思います。

四月

◇ 入学式・一学期始業式

小学校を卒業したばかりの初々しさが残る姿で登校する新一年生。制服での登校や教科担任制など、今までとのギャップはあっても新入生の表情からは、今までとちがう環境においての前向きな気持ちや真剣さがひしひしと伝わってきました。

◇ 新入生歓迎会

この日、新一年生は初めて在校生と対面し、在校生による生徒会活動の説明や部活動の紹介などが行われました。

◇ 認証式・専門委員会

それぞれの専門委員の代表者が任命証を受け取り、半年間にわたる専門委員会が始まりました。

五月

◇ 第四十一回校内体育大会

新しいクラスになって間もないことがうそのようなくらい、どのクラスもすばらしいチームワークを見せてくれました。個人競技においても一人一人が真剣に一生懸命取り組みました。きつと忘れられない思い出になったことでしょう。

六月

◇ 生徒総会

今年の生徒会テーマ「Goryo with fighting spirit」にもとづき、各クラスから種々多様な意見が出され今年度の生徒会活動における指針が定められました。

◇ 中体連陸上競技大会

校内体育大会などにおいて選抜された選手達は、練習中でも本番当日でも一生懸命にまた真剣に取り組んでいました。

◇ 校外清掃

各学級ごとに清掃範囲を分担して行いました。生徒全体がボランティア活動について認識できたと思います。AETのロバート先生にも一緒に参加していただきました。

七月

◇ 中体連総合大会

各部活動のキャプテン達からのコメント通り、どの部活動も悔いを残さないよう一生懸命に試合に臨んでいました。野球部は八年振りに優勝という素晴らしい快挙を成しとげました。



◇ 亀田川清掃

早朝の参加にもかかわらず、半数近くの生徒が参加し、ボランティアに汗を流しました。

◇ 一学期終業式

思い出深い一学期も終わり、それぞれ楽しく過ごした夏休み。そして二学期へ…。

八月

◇ 二学期始業式

一年で一番長い二学期が始まりました。

◇ 文化祭実行委員会発足

文化祭テーマは去年よりもっと進化した「Goryo with fighting spirit」に決まり、実行委員会企画では皆が楽しめる斬新で様々な意見が出されました。

九月

◇ 校外清掃

春と同様に、全員参加で行い生徒全員がさらにボランティアについて認識が深まったように見えました。教生先生の伊藤先生と中尾先生にも参加していただきました。

十月

◇ 第四十一回文化祭・開校四十周年記念式典
昨年同様一日目は、芸術ホールで、生徒一人一人が作りあげた歌声が響きわたりました。今年も、私の主張と文化祭実行委員企画も芸術ホールで行いました。

二日目は体育館で、開校四十周年記念式典が行われ、五稜中学校のこれまでの歴史を振り返りました。

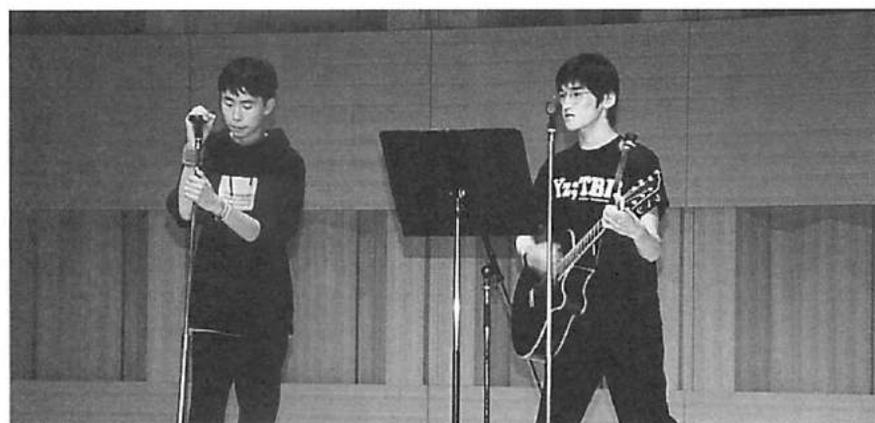
◇ 生徒会役員選挙・認証式

役員選挙では、どの候補者も熱意あふれる立派な演説をしていました。見事当選した人は、それぞれ新生徒会総務としての自覚を感じたと思います。

十一月

◇ 生徒会誌編集委員会発足

一、三年生の各クラスの代表員一名と、新旧生徒会総務によって構成される、この委員会。一年の生徒会活動についての集大成となる生徒会誌の編集が始まりました。



十二月

◇ 二期期終業式

ここで充実した二期期が終わり冬休みへ入りました。

一月

◇ 三期期始業式

一年間のラストスパートとなる三期期が始まりました。

三月

◇ 卒業式・終了式

三年生は思い出深い、この五稜中学校という巣から、一人一人自分達の新しい希望の世界へ翔いていきました。また、この一年間で生徒一人一人がひと回りもふた回りも大きく成長することができました。

いかがでしたでしょうか？今年一年間を振り返ってみると本当に色々なことがあったと思われれます。来年も今年以上に充実している一年間になることを期待しています。



3年間を振り返って

代議員会

この仕事は、とてもおもしろく、また、楽だったように思えます。私は小学校の頃から代議員にはまっていますが、大変なのは、司会をしていて皆から意見が出ない時位です。

代議員会は、生徒会総務と専門委員長と代議員が集まって開かれます。31人と人数が多く(他の委員は18人)、个性的な人が集まるので、とてもにぎやかです。また、総務がいるので委員長などを決める必要がなく、安心して代議員に立候補できます。

私たちは普段は代議員という名前ですが、時々「実行委員」に変わることがあります。修学旅行や文化祭の時、生徒会誌を編集する時などです。実行委員になっている時は「仕事してるな」と感じ、すごく楽しいです。

よく先生は「代議員は学級と学校のパイプ役だ」と言っていました。ですから代議員会は、学級からの「こうしてほしい」というような意見を検討することもできるのです。

最後に、佐藤先生、桑野先生への感謝を込めて。これで、代議員会の活動報告を終わります。
(佐藤 ありす 記)

「ちょっと荷が重いなあー」
思いつつやり終えた委員会

学習委員会

僕は二年生の時に初めて学習委員になりましたがその時は、「一番楽かな？」としか考えていませんでした。でも実際は、テストの予想問題作りなど大変だけどやりがいを感ぜながらすることができました。自分自身のためにもなったので本当によかったと思っています。

僕も去年の後期に引き続き、三年も学習委員になりました。テスト問題を作成するのを忘れ夜、寝るのが遅くなったり、「今日はテストを回収します。後から集めてください」というと、みんなに「えっ！」と言われたり。でもまじめにコツコツ勉強するタイプではない僕にはちょっとですがいい勉強になったと思います。最初クラスの中が席を移動している人がいたり、うるさかったけれど、徐々に、みんなまじめに自習してくれるようになったのがとてもうれしかったです。みなさん御協力ありがとうございました。

(佐々木 祐貴・坂本 涼 記)

生活委員の仕事の大切

生活委員会

生活委員会での主な仕事というのは、週番活動が中心でしたが、それが日番という形になってからは、仕事が減りました。だからといって、生活委員は簡単な仕事だと思つては大間違いです。生活委員には、他にも大切な仕事があるのです。

生活委員会では、当初に決めた月の重点目標に従つてちこく・着席・不要物・廊下でのすこし方・服装などについて声かけや掲示物を貼つたり点検活動もしてきました。集会の時も整列の声かけもしてきました。たとえ、週番活動がなくても、いつもあいさつをする心を心がけるようにしています。

生活委員会で働きかけてきたことは、学校生活に限らず社会生活の基本だと思ひます。生活委員会ですこしかつたことを、将来の生活に活かしていつてくれればうれいしいです。

最後になりますが、今まで生活委員会についてくださった先生方、並びにお世話になつた学校の方々、本当にありがとうございます。(中江 啓太、横山 和博 記)

体育委員をやつて

体育委員会

体育委員会の仕事は、とても大変です。体育大会に使う机やパイプイスを準備したり、文化祭で使うひな段や吹奏楽部の楽器の準備や後片付けもすべて体育委員の仕事です。しかし、これらの仕事をやりとげた時の満足感、他の委員会では、少し味わえないものだと思います。

色々な行事の中でみんなの中心となつて活動しているうちに、自分自身に自信がついた事もありました。時には楽しく活動し、いろんなことを行うことで、とてもいい経験をすることができると思ひます。体育委員は、体育が少し苦手でも関係ありません。仕事の量も他の委員より多く疲れるかもしれません。しかし、自分に自信をつけた人や何事もチャレンジしたい人は、やつてみると良いかもしれませぬ。

僕は体育委員をやつてマイナスになつたことは一度もありません。すべて自分にプラスになつていと思ひます。最後に、指導してくださった山口先生、色々有り難うございました。(成田 晃 記)

保健委員になつて

保健委員会

今年の保健委員会の活動は、ほとんど昨年にならつて行つてきました。主な仕事の内容としては、白衣やランチマットの点検・ハンカチ・チリカミの点検にポスター作成、そして石けんの補充や手洗場の清掃などで、どれも給食や清潔に関する仕事をやつてきました。こう見ると、保健委員会の活動内容は他の委員会に比べると、とても多く、面倒だといふ感じがありますが実際、あまり多くはななく逆に楽な委員会でもあつたと、私は思ひます。また、まとまりもあつて、とても活動しやすいので、楽しかつたなと思ひます。

私は、保健委員になつて、たくさんの方の役に立つ事ができて嬉しく思つていいます。

最後に私は、今回初めて委員長となり、責任感が増したと思ひます。そういう面で保健委員会に入つて、本当によかつたなと思ひました。お世話になつた先生方、そして、一緒にがんばつてきてくれたみなさん、本当にいろいろありがとうございます。(和泉 愛美 記)

文化委員会の仕事

文化委員会

私達文化委員会は、主に掲示の仕事と図書の仕事に分かれています。一番最初の委員会では掲示は男子、図書は女子と分担し活動することにしました。くわしく活動内容を説明すると、掲示の仕事は月二回校内にある掲示物を張り替えるという簡単なようでけっこう大変な仕事でした。図書の仕事はというと、各学級に本を貸し出す仕事をしていました。

このように、文化委員会は、他の委員会と比べて地味であり目立たない仕事をしていました。しかし、私達文化委員会は、地味で目立たなくても学校の中を少しでも明るくするために、出来る範囲で一生懸命頑張っていました。

ただ、私が個人的に思っていることは静かすぎることです。明るくうるさいくらいが好きなのは何か物足りなさを感じていました。これから入ろうと思っっている人は、活動範囲をもっと広げて楽しく明るい活発な委員会を作り上げてほしいです。

(目下 朋美 記)

ボランティア委員会を終えて

ボランティア委員会

今年のボランティア委員会では、昨年まで企画には出ていたものの行動に移すことができなかつた野外劇参加を実現することができました。何度も委員会を開き、参加についていろいろな事を決めました。委員の人達も協力的に意見を出してくれてとても助かりました。当日には、菊地先生や教頭先生が来てくれ、とてもいい経験をしたと思います。

他に、ボランティア委員会では、花壇造りや文化祭で活動をしました。特に大変な仕事もなく、楽しんで仕事することができました。

花壇造りは、学年で分担し、水やりをほぼ毎日やりました。水やりはたえることはなく他の人が忘れてしまった日も必ず代わりに誰かが水を与えていました。その結果花はきれいに咲き先生達もほめてくれました。

今年のボランティア委員の人達には、どんな新しい事に挑戦し、ボランティア委員会をもっと活動的なものにしてほしいと思います。

(吉村 多恵子 記)

選挙管理委員を終えて

選挙管理委員会

選挙管理委員は年に一時期、生徒会役員選挙の時しか活動しません。仕事は選挙の運営と管理です。これといった仕事もない委員会としても楽です。そんな理由で私は2年3年と選挙管理委員になりました。一番楽しかったのは全校生徒が投票した一票一票を開票することでした。まちがわないう一票一票を正の字にしていく作業をしている時はみんな真剣でした。そして開票作業を終え、今年も無事、生徒会長が決まりました。とホッとすることもありました。しかし、やはり残念なのは無効となる票が出たりすることでした。去年も無効になってしまったりすることでした。演説をしている人やその責任者は一生懸命にやっているのに考えると残念なことです。来年の選挙の時はこのようなことがなければいいなと思います。

この選挙管理委員会で私が学んだことはさまざまです。いくら簡単な委員といっても学校の中心となる生徒会を決めることに携わっていく仕事なので次に選挙管理委員になる人達にもがんばってほしいです。

(関口 百子 記)

フレンドリーな♥応援団

応援団

僕達応援団は最初、やる気がある人というのは、ほんの少ししかいませんでした。

応援団が集合したとき、団長を決めることになって、僕は鶴先生に指名され団長になってしまい、応援団のまんなかに立って応援をしなければならなくなりました。

いざ応援をしようとすると一年生は初めてでまだ恥ずかしいらしくてあまり声が出ていませんでした。でも、本番では全団員が自分出せる声を全て出しきれていたと思うし、その声はきつと選手達にも届いていたと思います。

そんな応援ができたのは、指導して下さった鶴先生、桑野先生、そしてなによりも、とってもフレンドリーで明るい応援団員達のおかげだと思います。

一年間、本当にありがとうございました。

↓(応援団 最高!)

(工藤 充 記)

大きい声出してゆこう!!

放送局

「みなさん、おはようございます。」から始まる朝の放送。「みなさん、こんにちわ。」から始まるお昼の放送……。この二つの言葉は、私にとつてすくく忘れられない言葉となりました。

私が、放送局員になって約二年。がんばって来ました。一年生と二年生の時は、朝の放送だけをやっていましたが、三年生になってから、「局長」と言う仕事と、一番大変なお昼の放送が、「ドーン!!」と来ました。

三年生になっての放送は大忙しの毎日で、しかも、一年生が約20人も入って来て、朝の放送は、大変でした。今では、一年生に朝の放送全部と、二年生にはお昼の放送を任せました。最後に大宅先生に本当に感謝します。困らせてしまっただけでした。すみませんでした。最後にこれからの放送について。

朝の放送の曲は、変えて下さい。昼の放送は絶対に「STAND・BY・ME」をお願いします。アナウンスは最大2、テープは最大4までです。「大きい声を出してゆこう」を忘れずがんばって下さい。(増野 幸子 記)



平成13年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(前期)

	3 A	3 B	3 C	2 A	2 B	2 C	1 A	1 B	1 C
代議員 長副	酒井 達矢 佐藤ありす	工藤 充 松田なぎさ	大内ももこ 久米 賢	澤村 謙太 大越 香織	近藤 由規 片桐 奈美	吉田 幸博 高橋 綾花	木佐 瑞紀 福田 啓希	石黒 敦洋 佐藤 久美	北山 遼太 相田 夢希
生 活	横山 和博 佐藤 仁美	富原 翔平 阿部真由子	坪川 祐太 久末 梨奈	古館 隆一 内川 由貴	遠藤 貴洋 吉村麻里衣	石田 庸大 佐藤あかり	阿部 隆太 中曾根知世	山谷 拓己 多田 紫乃	本根 丈士 栗田 朝美
学 習	坂本 涼 平松 朋恵	佐々木祐貴 張磨 眞帆	船山 貴裕 山本 理恵	生島 裕希 笠原絵梨香	辻 隆寛 渡邊亜祐美	赤石 卓也 渡辺 清美	森 雄紀 敦澤 亜未	鎌田 瑛浩 鈴木友香里	小野 浩弥 岡崎 佳純
体 育	成田 晃 佐藤 藍子	鎌田 群 高島 美里	福岡 正博 藤井絵理華	佐々木大輔 田中亚希子	工藤 洋司 出村 春香	今野 翔 鎌田 遥	張磨 慧祐 行田 舞	葛西 佑哉 吉村 奈々	安澤 和希 高坂 彩乃
保 健	島田 京介 山田 愛	瀬戸 智里 星賀さとみ	小野 佑輔 堀見 綾香	小山内 健 佐藤 綾香	川村 裕二 川村佳菜恵	山田 拓郎 和泉 愛美	木田 拓麻 平松 幸恵	岩井 辰也 菅原 志保	水元 謙吾 川田 智美
文 化	吉塚 竜也 東 晃子	早坂 隆弘 伊藤 正枝	對馬 康太 高橋 美早	古村 侑也 木本由希奈	花田 宗平 門傳 彩夏	西家 雅人 横山 博美	新渡 喜規 本木茉莉奈	野口 賢清 滝下 恵	早坂 治基 難波麻里絵
ボランティア	高橋 和也 吉村多恵子	橋本 智 横山和貴子	森 浩平 大野 真以	遠藤 直也 鏡谷友紀子	高村 繁幸 高橋 えみ	上杉 健太 天満 幸保	北村 享平 井上布紗子	宇美 一輝 佐々木由嘉	山本 智洋 岩田 えり
学級書記	大島 力	谷口 尚広	水元 聖子	中村佳菜子	松葉 俊宏	砂子田美希	橋本 将樹	吉田 亜弥	千葉 綾美
学級会計	中江 啓太 高井麻里子	小上 優 本間久美子	太田 博文 増野 幸子	金 隼人 志村 美紀	濱地 直宏 下村 美和	對馬 隆元 大島 夏美	吉塚 方規 伊藤 匡恵	菅野 友貴 竹村 歩美	若狭 恭平 高橋 法子
選挙管理	関口 百子	及川 朋美	日下 朋美	赤石 徹朗	大國 亜美	干場衣知乃	福田 啓希	長谷川 唯	高崎 洋平
応援団	成田 晃 水野 盛太	工藤 充 早坂 隆弘	對馬 康太 太田 博文	高橋 和也 中山 拓也	鈴木 拓哉 西村 陸朗	石田 庸大 塚谷 善介	加賀谷 慈 中澤 勝平 木田 拓麻	柳町 広明 棚池 義明	本根 丈士 水元 謙吾 安澤 和希
放送局	平松 朋恵 島田 京介	瀬戸 智里 笈口 麻衣 佐々木容子 張磨 眞帆 筆村 美里 井田佳奈恵	太田 博文 多田 莉彩 増野 幸子	木本由希奈 田中亚希子	篠崎 菜摘 中西 理沙 信田 真利	高橋 綾花 丹羽 裕香	野呂奈都美 平松 幸恵 坂本 静香 本木茉莉奈 笹谷 琴恵	小川めぐみ 菊池 朋子 林 麻実 原 菜摘 山下朋奈美	相田 夢希 千葉 綾美 長谷 舞 林 沙織 古館 隆子 吉田 藍

平成13年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(後期)

	3 A	3 B	3 C	2 A	2 B	2 C	1 A	1 B	1 C
代議員 長副	酒井 達矢 佐藤ありす	松田なぎさ 小上 優	大内ももこ 福岡 正博	澤村 謙太 渡邊 結衣	濱地 直宏 中西 理沙	赤石 卓也 山田奈里美	張磨 慧祐 桑村 紗苗	竹村 歩美 菅野 友貴	北山 遼太 岡崎 佳純
生 活	中江 啓太 関口 百子	一戸 翔太 星賀さとみ	石川 洋平 堀見 綾子	高橋 裕司 笠原絵梨香	花田 宗平 吉村麻里衣	前田 隆太 佐藤あかり	小林 春菜 竹本 和貴	石黒 敦洋 吉田 亜弥	安澤 和希 菊谷 友美
学 習	坂本 涼 阿部あゆみ	富原 翔平 伊藤 正枝	船山 貴裕 大野 真以	高橋 和也 内川 由貴	高村 繁幸 川村佳菜恵	塚谷 善介 渡辺 清美	敦澤 亜未 小川 洋平	鎌田 瑛浩 柴山 鈴香	佐々木恵太 岩田 えり
体 育	成田 晃 東 晃子	岡部 一也 高島 美里	森 浩平 藤井絵理華	古館 隆一 田中亚希子	工藤 洋司 門傳 彩夏	今野 翔 砂子田美希	柳田 梨奈 中澤 勝平	林 勝昭 菅原 志保	伊藤 亮介 高坂 彩乃
保 健	水野 盛太 横内 亜弥	中尾 祥一 筆村 美里	小野 佑輔 久末 梨奈	佐々木大輔 松本 優美	鈴木 拓哉 濱道 萌	高橋 翔悟 和泉 愛美	本木茉莉奈 阿部 隆太	敦沢 尊 櫻庭 美佳	水元 謙吾 古館 隆子
文 化	山谷 佳祐 佐藤 仁美	小川 隆一 横山和貴子	小椋 裕喜 日下 朋美	古村 侑也 木本由希奈	西村 陸朗 岡田 沙織	西家 雅人 横山 博美	坂本 静香 有岡 諒	山本 隆太 小笠原聖美	早坂 治基 難波麻里絵
ボランティア	高橋 和也 吉村多恵子	小林 達也 藤野 唯	對馬 康太 松木 千衛	小山内 健 鑑谷友紀子	岡部 広大 高橋 えみ	上杉 健太 天満 幸保	井上布紗子 橋本 将樹	加藤 秀一 滝下 恵	山本 智洋 住山 明奈
学級書記	大島 力	張磨 真帆	多田 莉彩	宮本 梓那	下村 美和	對馬 隆元	木佐 瑞紀	林 麻実	高橋 法子
学級会計	宮田 諭 山田 愛	谷口 尚広 工藤 充	太田 博文 佐藤 望	遠藤 直也 中村佳菜子	遠藤 貴洋 信田 真利	檜木 僚祐 干場衣知乃	新渡 喜規 山崎 善紀	新堀 卓哉 原 菜摘	小野 浩弥 吉田 藍

総 務	会 長	伊藤 祐樹(2 A)	副会長	吉田 幸博(2 C) 片桐 奈美(2 B)	書 記	山田 拓郎(2 C) 高橋 綾花(2 C)	会 計	野口 賢清(1 B) 木佐 瑞紀(1 A)
-----	-----	------------	-----	--------------------------	-----	--------------------------	-----	--------------------------

卒業生へ贈る言葉



「道」を切り開け。

三年A組 担任 佐藤 雅博

卒業生のみなさん、卒業おめでとう。君たちにとって二十一世紀最初の年はどんな年だったろうか。長いようで、過ぎてしまえば一年はあっという間だったと思います。その間にさまざまなできごとがありました。一番強く印象に残っているのは、「同時多発テロ」でしょうか。十九世紀は「科学の世紀」、二十世紀は「戦争の世紀」と言われているようですが、二十一世紀はどんな世紀になるのでしょうか。

先日、日本人二人目の女性宇宙飛行士、角野直子さんのインタビューがテレビに映し出されていました。現在、国際宇宙ステーション（ISS）に取り付ける「きぼう」という日本製の実験棟の打ち上げに向けて訓練を続けている彼女は最後に、「道はない。歩くところが道になる。」と述べていました。

「道」を最初に作り出した人は偉大だと、常々思っていた自分にとっては、よく聞く言葉ではあるが、とても新鮮に聞こえました。誰かに敷かれた道ではなく、自分が新しい道を切り開こうとしている角野さんの言葉だからこそ素直にうなずけたのだと思います。

二十一世紀はみなさんの世紀です。日本の平均寿命が八十歳位と考えると、みなさんは二〇七〇年頃まで生きることになります。まさに、二十一世紀の日本を築いていく大きな力となるはずですよ。しっかりと将来を見つめ、自分の意志に従って「道」を残してください。人の後をついて歩くのは簡単ですが、先頭を歩くことは大変なことですよ。しかし、その跡には力強い「道」が残っているはずですよ。自分の選んだ道に誇りをもって、自分の可能性を信じて、自分の人生は、自分で切り開け、たくましく。



さらなる成長を

三年B組 担任 輪 島 陽 子

卒業、おめでとうございます。

皆さんとは四月から一緒に学校生活を送ってきました。覚悟はしていましたが、本当に一年は短いですね。でもその一方で、修学旅行へ行ったことが、はるか遠いことのようにも感じてしまいます。色々なことがあって、その度に色々なことを考えました。どうして

なんだらう、どうしたらいいんだらう。毎日の生活の中で、色々考えて、悩んで、困って、そして決めて行動していく。それは皆、同じだと思います。決断するまでの時間が速いか短いかの差はあっても、またその姿を人に見せるか見せないかの差があっても。皆さんも、私も、私達のまわりにいる全ての人も、それぞれに色々なことを考えています。

卒業してから、皆さんには、たくさんのお会いがまっています。あたらしい友人、あたらしい先輩、そして大人達。ぜひ、多くの人と出会って下さい。話をして、活動をして、たくさんのお話を吸収して下さい。今の自分では通用しない場面もあるでしょう。今までの自分の価値観がひっくり返される時もあるでしょう。そんな時こそ、自分が変われる、成長できるチャンスになります。

私は皆さんに、自分で考えて行動できる人になってほしいと願ってきました。誰かに言われたから、皆がそうしてるから、ではなく自分の意志で行動できる人になってほしい。自主的と自己中心的をはきちがえないように注意しながら、強い人間へと成長して下さい。



仙人のお告げ

三年C組 担任 越 田 喜 忠

今から、うん十年前、自分の大学時代である。

私が研究室に、白髪に羽織・袴、それにステッキという、出で立ちの仙人がおった。

我々は、卒業を間近に控えた、ある日の夕方。

数人、教官室を訪れ、卒業記念の冊子にのせる小文をお願いしたところ、

ウーン、と、ひとうなりして、書いてくれたのが

「青年の時の勉強は、必ず実を結び、

青年の時の怠惰は、必ずその報いがある。

自分は今、

その報いに立ち向っている所である。

諸君には、

その轍はふませたくない。」

と言う一文であった。

これは正に、仙人の「お告げ」であった。

自分は今、この年令になって、この一文の奥深さに気付いた。

そして、正に、同じ道に迷い込んでいることに。

そして、その報いに立ち向わなければならないことに。

今だから言っておきたい。

諸君には、同じ轍はふんでほしくないものであると。



失敗を恐れるな

三年A組 副担任 笹谷 巖

第三十九回、卒業生のみなさん、卒業おめでとう。卒業は新しい人生への出発です。はなむけの言葉をひとつ贈らせてもらいます。「失敗を恐れるな」です。人間であるかぎり誰れでも、過ちをおかし、失敗をします。が、失敗したからといって、その人間の価値は下がりません。人間としての価値を問われ、疑われるのは、失敗を充分反省し、同じ失敗を再び繰り返さないよう努力する姿勢がみられれば、周囲の人々は高く評価するでしょう。失敗は一つの教訓であり、ものが好転する第一歩である。失敗を恐れず、突き進んで下さい。みなさんの健闘を祈ります。



厳しい冬があるから、春に幸せを強く感じる

三年B・C組 副担任 菊地 康幸

みなさん、卒業おめでとうございます。これからそれぞれの人生を歩まれることとなりますね。頑張ってください。

私は、中学時代を斜里町立斜里中学校というところで過ごしました。斜里とは知床半島の付け根にある町です。冬は、海岸に流水が接岸し、とても寒くなります。流水といっても海は一面が氷に覆われ見渡す限りの雪原になります。すこく寒く、オーバースボンにヤッケを着て歩くという生活でした。

ただ、冬の寒さが厳しかった分、暖かい春をととても幸せに感じました。みなさんの周りにも普段は気付かない、些細な幸せってありませんか。幸せな人生って心掛けだと思います。



自分の道を拓いて

養護教諭 武田 輝代

三年生のみなさん卒業おめでとうございます。

みなさんは、五稜中学校でどんな自分をみつけましたか。これからは、多くの人に支えられながらも、自分のことは自分自身で決め、生活しなければなりません。

迷うことも、答えがみつからず苦しい時間が続く事もあるかもしれませんが、そんな時こそ大いに悩んで、考えてください。人は悩んだ時こそ大きく成長するものです。

みなさんが、自分を輝かせるステージをいつか見つけてくれる事を期待しています。お身体を大切に・・・



楽しいおもいでをありがとう

一年A組 担任 阿部 眞美

御卒業おめでとうございます。二年間いっしょに学ぶことができて、うれしく思います。宿泊研修旅行、家庭科の調理実習の「べちゃべちゃご飯」、英語の時間も楽しかった。五稜中学校での最初の生徒で思い出も深いです。たまには五稜中学校に来て、高校の様子を教えてください。

御卒業おめでとうございます

一年B組 担任 七宮 義通



御卒業おめでとうございます。五稜中学校で学んだこと、共に過ごした友人、お世話になった先生方のことを忘れずに、新しい世界でも頑張ってください。自分の行動に責任を持てる大人へと成長してってください。

初心忘るべからず青春せよ

一年C組 担任 桑野健一



卒業おめでとう!! 「15の春」を迎えた今、君達は五稜中学校を巣立って行きます。中学校生活の様々な思い出を胸に秘めて、新たな希望へと向かって行きます。初心忘るべからずの精神で、この先、自分の未来への道を一生懸命開拓して欲しいと思います。何事にも青春する事が大切です!!

生きぬく力を

一年A・B組 副担任 鶴宗三郎



これからは、自分の意志で歩いて行く(自由)ことができます。そこには、不安定要因(自分の意図どりにならぬ)が入って来ます。不安定の境遇に遭っても、生きぬく力を身につけてがんばってください。

「卒業生へ」

一年C組 副担任 大宅剛



卒業おめでとう。「何事も身をもって体験しなければ、自分を支える本当の力にはなりません」挑戦してください。焦ることなく、悔ることなく、騙ることなく、じっくりと自分の力を蓄えてください。がんばれ!期待しています。

積極的な活動

二年A組 担任 山口哲也



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。日常の活動や各行事では、積極的に行動する三年生の姿が心に残っています。自主的に行動することは、たいへん素晴らしいことだと思います。今後の活躍にも期待しています。

卒業生のみなさんへ

一年B組 担任 笹原五郎



早い。入学時担任をした生徒がもう卒業です。皆さん、思う通りに事が運ばなくて、自分のおろかさや力のなさに茫然自失となる事がよくあります。そんな時こそ孤独です。しかし、これが生きている証拠なんですよ。自分のやった事にクヨクヨせず再度出直し。精一杯挑戦してみよう。

すばらしいスタートを

一年C組 担任 渡辺淳



卒業おめでとう。今年では中体連野球大会優勝、英語暗唱大会・英語弁論大会・英語祭のすばらしい成績等、長年の夢が一度に実現しました。皆さんの努力に感謝し、新しい進路に向けて、すばらしいスタートを切ることを祈っています。

発想力は柔らかい頭から

一年A組 副担任 伊勢健



発想が豊かでユニークであるために必要なのは、みんなと同じように物事をしないことです。みんなと同じことが自分の頭にインプットされれば、発想もひらめきもみんなと同じようになるのが当然。だから、勉強はただ教科書を読むだけではだめ。好奇心を持ち、いろいろな印象を受けることが大切です。

卒業生の皆さんへ

一年B組 副担任 大山裕香



「ありがとう」励ましてもらった一人一人に心から感謝しています。自信と勇気をもって羽ばたこう!



群れず、挫けず

非常勤講師 川尻 健二

「春ひとり槍投げ槍に歩み寄る」この五月に亡くなった俳人・能村登四郎氏の代表句です。暮れなすむ誰もいない広いグラウンドの片隅で、ひとり槍を投げ、ひとりその槍に静かに歩み寄る、眉秀でた青年の姿が目につかびます。春愁・孤愁。どんな世界に飛び出すにせよ、黙々と自分を磨き高める孤独な努力こそ君たち青年の本来の姿です。群れず、安易に流れず、挫けず。



感謝の心

非常勤講師 今井 正夫

義務教育も終了です。ここまで成長した姿を誰れに見てほしいですか。家族でしょうか。その他にも君が気付かずとも沢山の人が見守っていた。そうした人々にも感謝の気持ちを忘れずに。それができる人は、心も成長した証し。



青春

事務職員 相原 郁夫

青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。逞しき意志、優れた創造力、炎ゆる情熱(中略)、こう言う様相を青春と言うのだ。これはサムエル・ウルマンの一節です。これからもずっと青春を謳歌して下さい。



ご卒業、おめでとうございます

事務職員 榎山 栄子

義務教育卒業、おめでとうございます。輝かしい未来へのスタートです。いつだって、新しい人生の出発点です。失敗は成功の母。どんなチャレンジして、豊かな生活を楽しんで下さい。



目標に向って

用務員 高野 雄二

卒業おめでとう。今までは人生のほんの入口。これからはきびしい生活が待っていると思います。自分ので決めた目標に向ってがんばって下さい。



卒業おめでとう

用務員 山口 秀夫

NOWでHAPPYな、ステキな人生を送って下さい。期待しています。



心の豊かな人

給食 稲垣 良子

ご卒業おめでとうございます。人との出会いを、大切に、他人の、悦びや、苦しみが分かる、心の豊かな人になって下さい。

ご苦勞様。そしてありがとうございます。

二年B組 片桐奈美

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

五稜中学校に入学して先輩方に出会い、早くも二年が経過しようとしています。こんなにも時間が過ぎ去っていたのかと思うと、とても不思議に思います。

入学したての頃は、部活動を三年間続けることができるのか、先輩達とうまくやっていけるのかなど、様々なことに対して不安がありました。しかし、その不安を消し去ってくれたのは、先輩達と交わした挨拶でした。会う度に気軽に声をかけてくれたこと、すごく嬉しかったです。

このように振り返ってみると、色々なことを先輩達から学んできたと思います。先輩は、私達のすばらしい手本でした。これからは私達が先輩達の残した足跡をたどり、さらに新しい道を切り開いていきたいと思っています。そして、後輩の手本になるような先輩に、私達はなりません。

「十人十色」といわれるように、人にはそれぞれ違った物の見方があります。だから、個性の伸長や、自分自身の夢、希望を大いに満たしてほしいと思います。先輩達ならきっと夢をかなえることができます。活躍を期待しているので、未来へ向けて道を切り開いて進んでください。

先輩、三年間ご苦勞様でした。そして、ありがとうございます。

卒業生へ贈る ～在校生より～

一年間の思い出

一年A組 木佐瑞紀

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

もう先輩方に出会って一年経つのだと思うと、時が流れていくのは、早いなあと思います。

私が一番お世話になったのは、バスケ部の先輩です。入学当時、何もかもが不安だった私にとっては、「おはよう」「こんにちは」その何気ないあいさつが私には、勇気づけられるようでした。

試合に私が初めて出た時もコート内で何もできなかった私に「ガンバレ!」と言ってくれたり、たくさんのアドバイスを下さいました。あの時は、嬉しかったし、不安も一気になくなりました。

いろいろな行事、給食の時のお昼の放送などいろいろな場面で、みんながどうしたら盛り上がるかを一生けん命考えて下さいました。私は、そんな先輩を尊敬しています。私は、二年生になったら、今の三年生のような、みんなから頼られるカッコイイ先輩になるのが目標です。

先輩方が卒業されてしまうのは、とてもさみしいです。先輩方と過ごした日々は私にとっても大切な思い出です。私は、このたくさんの思い出を一生忘れません。なので先輩方も忘れないう下さい。高校生になったらまた、数々の試練が待っていると思います。しかし、がんばって乗りこえて下さい。五稜中学校で先輩方が残して下さったたくさんの伝統を、私たちが守っていきます。なので、安心して、楽しい高校生活を満きつして下さい。

本当に、ご卒業おめでとうございます。

勉強よりも大切なこと

三年C組 対馬 康太

現在も「勉強しろ、勉強しろ」という時代が続いています。その理由は受験とは、勉強さえできれば合格するものだからなんだと思います。ほくは、今の受験が嫌いです。確かに幾つかの職業は、勉強が土台となるものもありますが、勉強だけでできて何にもならない職業の方が多いと思います。

ほくは、自分の家が自営業という事で、色々な事を見たり聞いたりしてたくさんさんの経験をしました。勉強もできれば仕事もできる人もいました。でも、勉強ができて仕事はあまりできない人もいました。「お客様のくつをなおして」と言うと、「どっち向きですか」と聞いたそうです。その二人は市内でも頭のいいことで有名な同じ学校の大学生でした。一番すごいなと思ったことは、勉強は全然できない高校生の人が、何年も年上の人よりもとても仕事ができた事です。

中学生とは高校受験を控えてとても大変な時間を過ごします。しかし、それと同時に「自分」という人間の土台をつくる大切な時期でもあります。世の中には勉強だけでできて役に立たない事がたくさんあると思います。いつか社会に出ると色々な事を経験するでしょう。私達が一番するべき事は勉強ではありません。色々な事を見たり、実際に体験してみることが大切です。ですから、在校生のみなさんは「自分」の土台をしっかりつくくれるようがんばって下さい。

在校生へ贈る ～卒業生より～

思い出を大切に

三年B組 佐々木 容子

五稜中で過ごした三年間は、あつという間に過ぎて、とても短く感じました。入学する前は「これから三年間もあるんだあ」と思っていました。今では「もう卒業かあ」という気持ちです。この三年間、楽しかったことも、辛かったこともありましたが、今では、それが思い出になって残っています。休み時間のなにかいおしゃべりさえも、なつかしく思います。

私は、三年生になって後悔することを覚えました。今までも、後悔してしまっただけでなくさんありました。しかし、それはいつもいつもくだらないことでした。だから三年生になって、初めて本気で後悔しました。「勉強」のことです。もっと、ちゃんと勉強すればよかった。もっと頑張れたはずだ、と思いました。そして、もうこんな後悔はしたくないと思いました。

在校生のみなさん。みなさんには、まだ一年間、二年間という時間があります。卒業する時に後悔しないように、一生懸命がんばってほしいと思います。勉強や部活に真剣に取り組んで下さい。それから、友達との時間を大事にして下さい。五稜中で、たくさんさんの思い出を作り、大切にして下さい。



部活動



一年間の 活動記録

野球部八年ぶり優勝

野球部 太田博文

ほくたち野球部は、今年中体連で優勝しました。それは自分たちでもおどろくぐらいに予想外のことでした。なぜかという、練習試合でも勝つより負けることのほうが多かったようなチームだったからです。しかし、一回戦で負けるのはくいがこのるので絶対に勝とうと思いました。

そして、中体連の一回戦に優勝候補の湯川との試合は延長9回までいってみごと3対2で勝った時、優勝候補に勝ったんだから優勝できると思っていました。二回戦、宇賀の浦との試合は8対0でコールド勝ち、みんなかなり勢いにのっていた。3回戦は、深堀中と試合をして5対4で勝ったが、延長までもつれこみかなりあぶない試合だった。いよいよ準決勝になった、亀田と試合をして4対1で勝つていよいよ決勝戦になった。相手は附属中が一回に一点を先取し、7回表の時には5対1で勝って油断していると2点返されて5対3までになった。あぶなかったがそのまま逃げきって優勝した時はとてもうれしかった。みんなもかなりはしゃいでた。おしくも全道大会にはいけなかったが、今の二年生はとて強いので来年が楽しみだ。最後に応援してくれた人どうもありがとうございました。



ポジティブに…

サッカー部 石川 洋平

サッカー部は、この二年間、中体連で一度も勝利を得ることができませんでした。そのため、主将になってからの僕の目標は、中体連で一勝することでした。しかし、今期は人数が少なくやっとな試合に出れる人数でした。でも何とか人数も揃い、最初は、小学生の気分を引きずっているような、一・二年生も少しずつ部活に対する取り組みがしっかりしてきて、チームワークも良くなってきました。毎日の練習も、時間を忘れるほど、夜遅くまで頑張りました。

しかし、中学校最後の試合で、一回戦負けという結果になってしまいました。本当に悔しくてたまりませんでした。新人戦のPK勝利や、数々の練習試合等での思い出が頭の中を駆け巡りました。

負けはいつか大きな財産になります。後輩達にはこの悔しさをばねにあきらめず頑張ってもらいたいです。二〇〇二年に開催されるW杯の影響で、サッカー部の人数も増えることと思います。

最後に、ご指導して下さいました佐藤先生、その他、お世話していただいた保護者の方々、本当にありがとうございました。



支えてくれた人達へ

卓球部 一戸 翔太

卓球部に入って、二年半というかざられた期間の中でいろいろな事がありました。つらい事もありましたが、たくさんの人達に支えられて部長という仕事を成し遂げることができました。三年生は三人しかいなかったという厳しい状況でしたが、中体連団体戦優勝という目標を目指して、二年生と共に日々練習を重ねて頑張りました。

顧問の輪島先生は、卓球ができませんでしたが、それでも卓球部のために練習試合を組んでくれたり、卓球部のみんなが一つになりされていなくて、きみんなにアドバイスをくれたりなど、一生懸命頑張ってくれました。輪島先生、大妻高校の笹浪先生の支えがなければ、部長という仕事も、中体連のあの試合もできませんでした。いままでも卓球部を支えてくれた、たくさんの人達、一、二年上の先輩、いままでもありがとうございます。

後輩へ、どんなに苦しい試合の時でも決してあきらめず、勝つのは自分だという気持ちを忘れないで下さい。その気持ちの積み重ねで君達は絶対に強くなれる。いままでもありがとうございます。



「バスケバカ」

男子バスケット部 島田京介

中体連：それは今もはつきりと頭に残っている。いや、一生忘れる事は無いだろう。二年半、ずっとこの日を夢見、そして、この日のために練習してきた。しかし、結果は惨敗。とても悔しかった。冬季リーグや春季だつていい結果は出せず、いつも涙を飲んで来た。どうして勝てないんだろ？いつも悔やんでた。俺がもっとしっかりみんなをまとめていけば、俺がシュートを決めていけば：何度も何度もそう思った。

部員は、三年だけで十二人もいた。

今までみんながこんなつらい練習に耐え、中体連にのぞむ事が出来たのも、全員がバスケ大好き「バスケバカ」だつたからだ。俺はマジで思う。まあ最強は俺なんだけど：後は、「ぜってえ負けねえ」という強い絆で結ばれていたからだ！これからの気持ちも忘れないでがんばってほしい。もし、自分を見失わないかいたら、これを読んで思い出してくれたら嬉しい。先輩達！！これはお前らにも言ってる事だ！後は根性で！！これは俺がお前達に言える最後の言葉だ！！しっかり刻んどけ！！今まで五稜中バスケ部に関わった人全員に感謝しています。何よりも鶴先生、こんな紙じゃ伝わらないかもしれないけど感謝の気持ちを込めてありがとう。最後に今までこんな俺についてきてありがとう。俺はバスケバカのみんなが大好きだ！！



「バスケバカ」

女子バスケット部 藤井 絵理華

今でも忘れられない中体連。自分達の力を発揮できず惨敗した。悔しくて、悔しくて涙が止まらなかった。三年間、雨漏りした日もすき間風が吹いた日も廊下に雪が積もった日も休まず練習してきたのに、一回戦負けという悔しい結果で終わってしまった…。

私は三年間、バスケを続けてよかったと思う。三年生は七人しかいなかったけど、みんな「バスケバカ」だったので楽しく部活をするコトができた。私達は悪ガキでよく鶴先生に迷惑かけてしまい、部活停止にされたコトもあった。あの頃は、すぐ部活停止にする鶴先生が嫌いだったけど、部活を引退した今ではすごく感謝の気持ちでいっぱいです。鶴先生をはじめ指導してくださった先生方、応援してくれたみんな、本当にありがとうございました。

後輩のみんなへ

「お前達は練習をふざけてやりすぎだ！！もっと真面目にやっつて中体連、一勝はしてくださいな。いつでも相手になってやる！」なんて強気なコメントもここまでにして「えー。今までこんな変な私についてきてくれて：ありが10びき。」うっちー、タッキー、君達が今度は引っぱっていく番だよ。がんばってねえ。



テニスを続けた三年間

テニス部 関口 百子

私の中学校生活で一番の思い出は、三年間テニス部でがんばった事です。球拾いをしていた頃はもう二年以上も前で、遠い過去のようだ。たくさん思い出が思の中にはつきりと残っています。

その中でも一番の思い出は、最後の中体連です。テニス部は、先輩後輩とても仲の良い部でした。一本打ちの時でもサーブの時でもおしゃべりがつくることはそうありませんでした。でも、その分部活に対する真剣な気持ちが届かなかったのは確かだと思いました。中体連当日は、全く実力を出せずに終わってしまった。もっとマジメに練習していればとすごく後悔しました。でも後輩のみなさんが応援してくれたことや、球がうまく打てない時でもはげましてくれたり、前の衛の言葉は忘れられませんが、楽しい事も辛い事もあったけれどテニス部でがんばってよかったと思っっています。後輩のみなさん、卒業していった先輩、そして菊地先生、本当にありがとうございました。これからもテニス部、がんばって下さい。



希望

コンピュータ部 久米 賢

その名のとおり、コノ部活は、パソコンで遊ぶということが部活動です。したがって、10人20人がかたまってパソコンなどできるわけがないので個人個人が帰るという形になります。つまり、一人さぼってさぼっていいということではないのです。今年からインターネットも使えるようになって、よい感じなので、みんなさぼらないで来てほしいものです。しかし、正直な話、家にあるゲームの方が楽しい。それはまきれもない事実です。しかし、この部活に入った(入ってしまった)以上、週一くらい顔を出してほしいなあと思っています。まるで自分が一日もかかさず出席したかのような書き方になってますが、題が「希望」なのでおゆるしを。あまり書くことがないのでこのような事を書いていますが、考えてみてください、ガラス窓からのぞいたコンピュータ室を。遊んでいます。その他の部活のように練習もしてません。そう思うと活動内容は「パソコンを使う」の七文字で終わってしまい書くことがないのです。一応、部長としていろいろ書いてきましたが、願わくば次の部長にはなにか楽しい事を計画してほしいと思う。



たくさんの思い出

吹奏楽部 水元 聖子

待ちに待った新入部員入部。「二人ぐらいいだつたら、どうしよう。…」と心配だつたけど、16人も入部してくれました。少人数の部活だつた吹奏楽部にとっては、思わぬ展開。うれしかったけど、いきなり倍の人数になつたため、まとめていけるか、不安でした。

6月の吹奏楽祭。新入部員が加わってからの初ステージだつたので不安と緊張でいっぱいの日でした。

七月、吹奏楽祭の余韻に浸る間もなく、本格的にコンクールの練習が始まりました。そしてコンクール当日、緊張の結果発表。あきらめていた金賞を授賞することができました。

十月、たくさんの思い出を振り返りながら、無事終えることができた文化祭。これが、私達三年生のラストステージとなりました。

一年の間で、辛いこともたくさんあつたけど、今思えば自分にとってプラスになつたと思います。桑野先生、いつも優しく、時には厳しく指導していただきありがとうございます。先輩のみんな今までありがとうございます。「一音一心」を忘れずにこれから、がんばってね!!応援してるよ!!



ちよつと残念だつた半年間

美術部 笠井 奈津紀

私は、今年美術部に入部しました。活動は週二回と少なく、部員は十人、三年生は私一人と、ちよつと寂しいと思つてしまつた部活でした。

私は絵がとても好きなので、入部してから、活動がとても楽しみでした。でも私は体調が悪かつたり、用事があつたりして、部活に出られない日がほとんどでしたが、みんな私に優しく接してくれました。

七カ月はあつという間に過ぎてしまひ、本当はもっと活動に出たかったのにすこく残念でした。今でもす。それでも、部長としていられたことや、先輩達にお世話になつたこと、ほとんど活動に出られなくて残念だつたことはさつと心に残ると思います。

絵は、人の性格が現れるように思います。また、自分の心を表現することもできると私は思います。先輩達には、これからたくさん絵の良さを知ってもらいたいです。

越田先生、先輩のみんな、本当にありがとうございます。



一年間を振り返って

家庭・文通部 多田 莉彩



部員も少なく、活動も、ふれあいの時間が主でした。指編みをしたり、袋づくりをしたりしました。今年度は、文通をしようとして、日本国内の学校あてに学校の紹介文をつくったり、自己紹介文をつくり、送ったりしました。海外の学校とも文通をしようとして、AETのロバート先生に手伝ってもらって、自己紹介の文や、相手への質問の文をつくったりしました。ロバート先生に色々なことを教えてもらった時は、外国の人と、より身近にふれあえて、文通の難しさもわかりました。返事がこないのです。あんなに頑張ったのに残念でした。

でも、これからはインターネットの時代なので、国内も海外もインターネットでの交流を考えてみることも大切なのではないかと思えます。残る部員は一年生なので、コンピュータの使い方は、まだまだかもしれませんが、早く使い方に慣れて交流ができるよう期待しています。

笑ってらん

書道部 佐々木 ひかる

昨年から結成してはや二年。でも、相変わらず部員に貧しいが、なんとか頭初の目標の「検定取得」もやれたわけだが、今、私は七級の下。六月からどんけつから始めたのだから仕方がないのだが。

一年で、我が部が一番花咲かす時といえはやっぱり文化祭。昨年より少ない部員でも楽しく活動できました。

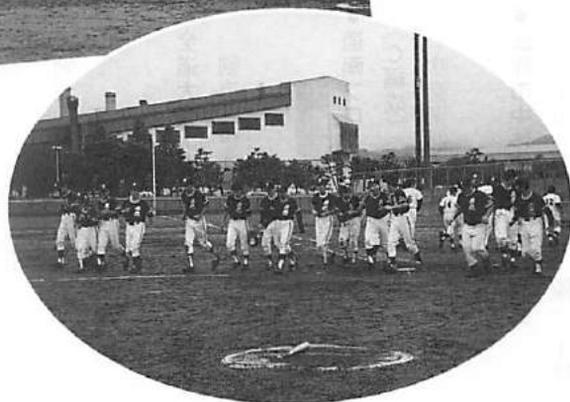
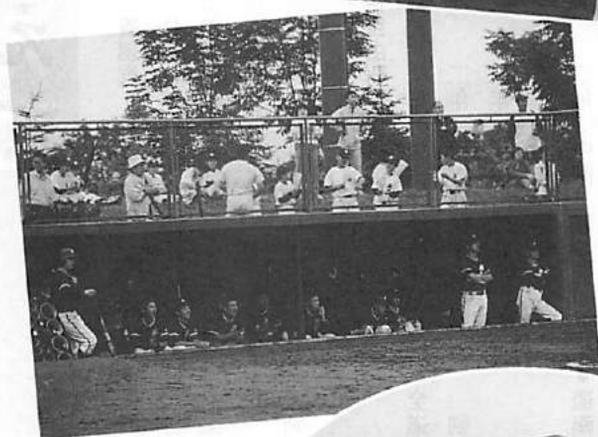
一年生の吉田さん、書道部に入ってくれて有難とう。

私が卒業すれば吉田さんだけになるけれど、できれば書道部は、生き残ってほしい。

一番お世話になった「美人で可愛いくて優しい」顧問の阿部先生、二年間有難とうございました。



野球部
優勝おめでとう!!



栄誉を讃えて

●高円宮杯第53回全国日本中学校英語弁論大会(東京)出場

三年 石川 洋平

●墨心会書道展

秀作 一年 井上布紗子

函館市かきぞめ大会

北海道新聞社賞

一年 井上布紗子

●函館市中体連大会

野球 優勝

柔道 超重量級 一位

三年 成田 晃

剣道 女子個人戦 一位

三年 張磨 眞帆

●函館市第50回英語祭

入賞 一年 木佐 瑞紀
二年 干場衣知乃

●社会科自由研究作品展

銅賞 一年 鎌田 瑛浩

〃 二年 中村佳菜子

〃 二年 高橋 綾花

佳作 二年 村上 佑奈

〃 二年 中西 理沙

〃 二年 山田奈里美

●全道大会出場

剣道(伊達市)

三年 張磨 眞帆

●道南ブロック吹奏楽コンクール

(C編成)

吹奏楽部 金賞

●函館市英語暗唱大会

優秀賞 三年 寺内 真

●函館市中体連陸上競技大会

三千m 三年 小川 隆一 4位

走幅跳 三年 鎌田 群 4位



思い出をこのページに残して



fair wind

やがて切れ切れに思い出が映る
みんな同じことを願ってた
もしも今ここに君が居たら
どんな歌をうたうのだろう

それぞれの風を身に受けて
今もそれぞれの場所へ

すべての仲間たちに贈ろう
とめどなく あふれる 大きなこの気持ち

それぞれの風を身に受けて
それぞれの場所へ ひとりひとりの速さで

また始まる明日の先で
色あせた写真も入れ換わるだろう

今はすべての仲間たちに贈ろう
とめどなく あふれる 大きなこの気持ち

(酒井 雄二 による)



水野 盛太	坂本 涼	横山 和博	成田 晃	宮崎 剛	関口 百子	佐藤 藍子	吉村多恵子	阿部あゆみ	酒井亜沙美	横内 亜弥	菅谷 先生
菊地 先生	酒井 達矢	宮田 諭	寺内 真	高橋 和也	山谷 佳祐	川辺 彩	高井麻里子	若杉 友里	大塚 真衣	佐藤ありす	佐藤 仁美
	吉塚 竜也	大島 力	島田 京介	鶴喰 真仁	中江 啓太	佐野校長先生	佐藤 先生	東 晃子	山田 愛	伊藤紗智子	平松 朋恵

3A

終わりなき旅

佐藤級

今年の3年A組はなんと言ったらいいのかわからないようなクラスです。

春、修学旅行、明るく、楽しく、3泊4日すこしました。そしていろいろ学んだ。

夏、体育大会、汗を流し頑張った結果はみんなの宝物に。

秋、文化祭合唱コンクール、おしくも金賞はのがしたものの、すばらしい団結力を築いた。

こんな感じで一年をやりとうしたと思う。あと教室の中にも特徴がある。それは、カレンダー、佐藤先生はサッカー好きだから、なぜかサッカー日本代表のカレンダーだ。教室だけではなかった。今思えば、3-Aの一人一人に特徴がありクラスがなりたっていたと思う。3-A31人は、無限の力をのばし高校へ行っても活躍してほしいと思います。そして人生の終わりなき旅をしてほしいと思います。

佐藤先生、お疲れさん。

卒業生一人一言

3-A編

え…実はオレ…タリバン!!

①我が巨人軍は、永久に不滅です。

吉本②天然素材

③りっぱなワリ棒もつてるぜ↓(??)

Keapaのジャージはいいね。

またお会いしましょう。さようなら。

身の上に心配あるがために参上。

卓球部は永久不滅だ——。

いくぞー、1、2、3ター!!

え…ぜってえ許さね!!(怒)

④ク、ワリオ?へ、くりほ?へ、

4⑤みがめのたまご産み!!

ワリオナクリボー♡ワリオボー

よっこというのはご存じですね

格闘技観戦はナマに限る

アーサーは近々増えますっ☆☆

目標は野ばらさんのような大人。

後輩よ、大志をいだけ☆☆☆!!

♪ボクの名前は田若作♡♡♪

⑥モーブス♡CD発売中買って♡

⑦一度*ここに戻るような

大島 力

酒井 達矢

坂本 涼

島田 京介

高橋 和也

鶴喰 真仁

寺内 真

中江 啓太

成田 晃

水野 盛太

宮崎 剛

宮田 諭

山谷 佳祐

横山 和博

吉塚 竜也

阿部あゆみ

伊藤紗智子

大塚 真衣

酒井亜沙美

佐藤 藍子

佐藤ありす

①にモーブス♡二にブッチモニを

②キです。つば八。

③ブッチモニもよろしく☆☆

え…実は…私…あなたに♡♡

④今までありがとう♡♡大好き♡

ハモネブ最高!!マジではまった!!

え…そうなの?!実は私も♡♡

五稜中サイコー!バイバイ。

☆See you ☆

ふわふわオムレツ☆

佐藤 仁美

高井麻里子

関口 百子

東 晃子

平松 朋恵

山田 愛

横内 亜弥

吉村多恵子

若杉 友里

川辺 彩

まだまだ
若いぜ!!





藤野 唯	松田なぎさ	星賀さとみ	工藤 幹子	坂田 悠	笈口 麻衣	及川 朋美	小川 隆一	富原 翔平	鎌田 群	一戸 翔太	佐々木祐貴
高島 美里	増谷 美里	佐々木容子	横山和貴子	伊藤 正枝	本間久美子	小林 達也	谷口 尚広	橋本 智	小上 優	岡部 一也	
筆村 美里	井田佳奈恵	張磨 真帆	阿部真由子	輪島 先生	佐野校長先生	工藤 充	早坂 隆弘	中尾 祥一	瀬戸 智里		

3B 3ねえりんBぐみい☆ ☆ 輪島級

私達のクラスは、一言で言うと「不思議」だと思っています。と言うのは、まず先生が変わっているからです。それに、突然静かになる事もあります。今だによくわからないクラスですが、もちろん長所は知っています。

何事にも前向きな所です。特に、体育大会では、不得意な人も得意な人も決して手をぬかず、一生懸命頑張りました。それでも一つは、明るい所です。いつも笑顔が絶えず、授業中も冗談を言って笑いとばし、とても楽しいです。

しかし、短所もあります。時間にルーズな所です。いつまでたっても席につかずに遊んでいたりと、話したり…。ひどい時には、先生から、雷を受ける事もシバシバ。時々、こういう事もないとダメなのかもしれません。そして、この変わったクラスの担任は、もっと変わっています。性格は竹を割った様な感じで、そして何故かいつも慣れない男口調で、頑張っていて、頼もしい先生です。

あと残りわずかな時間を大切にし、今までの以上のイイ思い出をみんなで作ってたくさん作って行きたいと思っています。

卒業生一人一言

3-B編

スイカはつきません。

修学旅行はローンソンだ!

先生をいじめるのはやめよう。

またいつか。

LOVE涙色 文句アル?

臨兵闘者皆陣列在前。

信念を貫け

勉強は意識の持ち方次第

明境止水

まあまあだった

明日は明日の風が吹くさ

Adiosu

心の翼を広げ新たな世界へ

自分の行動に自信を持って

27歳はおじさんじゃない!!

ぶんブンぶん はちがとぶん。

明日きてくれるかな? いいとも☆

みんな☆バイチャ!!

プリンプリン♡(浦野)

人の気持ちにしよう。

一戸 翔太

岡部 一也

小川 隆一

鎌田 群

工藤 充

小上 優

小林 達也

佐々木祐貴

瀬戸 千里

谷口 尚広

富原 翔平

中尾 祥一

橋本 智

早坂 隆弘

阿部真由子

井田佳奈恵

伊藤 正枝

及川 朋美

笈口 麻衣

工藤 幹子

坂田 悠

CHემISTRYは大切な人♡

HOW much?♡♡

ベストブレイス見つけた?

みなさん元気でさようなら。

蛍原ドキドキ♡星賀もドキドキ♡

踊りませぬか。

Good luck!!

宮迫です♡松ボンです♡♡

Good Bye..

なせば、なるっ!

佐々木容子

高畠 美里

張磨 真帆

筆村 美里

星賀さとみ

本間久美子

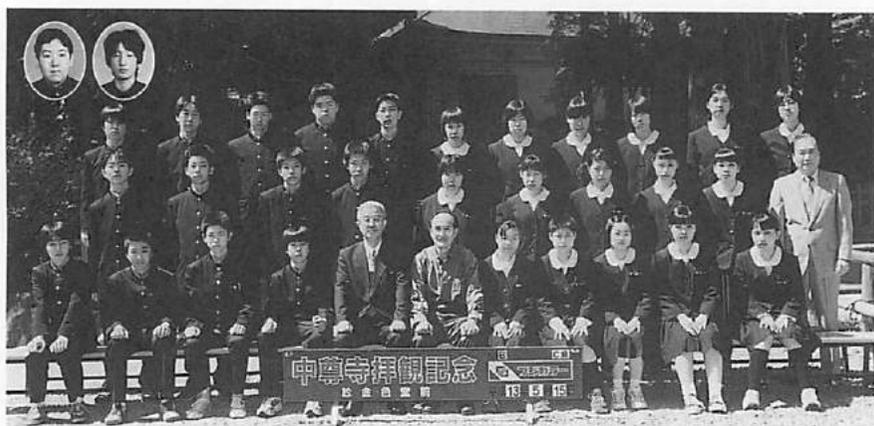
増谷 美里

松田なぎさ

横山和貴子

藤野 唯





山本 理恵	笹谷 巖先生	大野 真以
水戸部美来	大内ももこ	笠井奈津紀
藤井絵理華	久末 梨奈	高橋 美早
松木 千衛	堀見 綾子	増野 幸子
多田 莉彩	水元 聖子	日下 朋美
佐藤 望	佐々木ひかる	越田喜忠先生
小野 佑輔	石川 洋平	佐野校長先生
坪川 祐太	船山 貴裕	柴田 一洋
藤島 直哉	對馬 康太	森 浩平
福岡 正博	久米 賢	太田 博文
藤澤 真介		小椋 裕喜

別わく〔加賀谷 仁〕
〔近江 紘幸〕

3C

2001年の3年C組

越田級

私たち3年C組はいろいろな人がいますがとてもぎやかなクラスです。授業中たまに怒られることもあります。何事も一生懸命やるクラスです。この一生懸命さが、合唱コンクールでの金賞受賞へとつながったと思います。

眠い中むりやり声を出した朝練や、午後4時に集まった放課後練習、そしてみんなが金賞をとりたいという一致団結した力で得た、最高の賞だったと思います。

このようなことをすべて陰で支えていたのは担任の越田先生です。時に厳しいことを言う場合もありますが、だいたいは意味不明な言動でみんなを笑わせてくれます。何か問題があった時や言いたいことがある時などよくことわざを使って伝えます。たまに伝わりにくいことがあります。ほとんど聞き流しています。あとは、新聞から言葉を取り抜いて少し変えたものを教室にはっています。どのような効き目があるのかは誰にもわかりません。

中学校3年間をもう終えるわけですが、3Cは忘れられない思い出になります。

卒業生一人一言

3-C編

脳には砂糖だ！BY伊勢ちゃん

「さようなら」お元気で！

GOOD BYE 3-Cよ

②っ!!三年間って短くない!!

さようなら五稜中

健康第一、マイベース第一

一生懸命：恋しました：byなっち

命を預ってるんだ！Byワリポー

③かれたあサンキュー先生!!

「バイバイ」五稜中学校

あんたに関係ないっしょ!

悪戦苦闘、人生は航海

粘り強い生徒になれby伊勢ちゃん

④っかい夢をつかもうぜ!

鮮やかに薫る翼が要る

平和にカンバイ!

これからも頑張る

プリン食べたいなア。

ファイナルアンスウワー?

神の一手

人生は、スマイル☺スマイル☺

石川 洋平

近江 紘幸

太田 博文

小野 佑輔

加賀谷 仁

久米 賢

柴田 一洋

對馬 康太

坪川 祐太

福岡 正博

藤澤 真介

藤島 直哉

船山 貴裕

森 浩平

小椋 裕喜

大内ももこ

大野 真以

笠井奈津紀

日下 朋美

佐々木ひかる

佐藤 望

不得了。自分の道を大切にしよう

これからも、はじけていこう!

①ーピンタさいこう♡♡♡

②きんも100才ぎんも100才越は60才♡

③ちゅうがっこう万歳☆☆☆☆

「もぐら〓中田大好き♡」

④わさの担任コシ〇ーでしよっ♡

ほりはクレオパトウルアー?

時間割りがかわりすぎだと思う

夢は夢のままじゃいけない

高橋 美早

多田 莉彩

久末 梨奈

藤井絵理華

堀見 綾子

増野 幸子

松木 千衛

水元 聖子

水戸部美来

山本 理恵



修学旅行記



手づくり村にて

高橋 和也

夏の暑い日、僕は手づくり村にやってきた。気温は二十八度くらい。汗っかきにはたまらない暑さだ。天気に恵まれすぎている。建て物は山の中にあつて、たくさん緑に囲まれている。まさに、周りの大自然に包まれているようだ。

ここには盛岡の昔からの文化、歴史がある。それらを実際に体験するためにやって来たのだ。多くのコースは「チャグチャグ馬コ」である。もともとは馬にかざりをつけて走らせるものだそうだ。昔の人は、馬を乗り物にしていたらしく、その馬に飾りをつけて走らせるのが趣味だったそうだ。

建て物の中は、おみやげコーナーが充実していて、たくさん種類のおみやげがあつた。外にも店が並んであり、チャグチャグ馬コのおみやげや、手焼きせんべい等が売られていた。

チャグチャグ馬コの他に、竹細工やハンカチの染め物等も体験することができる。

ほくはこの地で、文化の大切さを教えられた。文化が、人と人を結んでいる大切なものなのだ。

永遠に

人を選びく この文化



狛鼻溪にて

筆村 美里

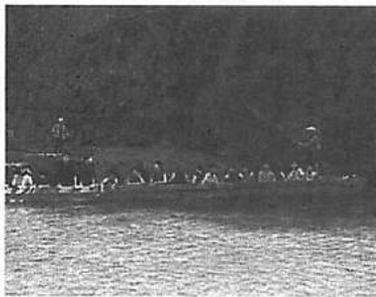
修学旅行2日目。私達は狛鼻溪に向かった。天気は雲がほとんどなく、気持ちいいくらい晴れていた。

船着き場に着くと、さつきまでは聞こえなかった鳥の声や風の音が聴こえてきた。そして正面には木や草、花などで緑色に染まった岩壁があった。岩壁が一番上が見えないほど高かった。舟に乗り込み、いよいよ舟が走り出すと、ゆれを全然感じないくらい静かでゆっくりで、まわりの風景を楽しめた。その静かでゆっくりと舟が走る様子や、舟についてくる魚、風、鳥の声、岩壁が、狛鼻溪の風景に良くなじんでいた。

帰りの舟で、船頭さんが歌を唄ってくれた。その声は、狛鼻溪全体に響きわたり、けっこう迫力があつた。そして歌のくぎれにあわせて鳥も鳴いていて最高に良かった。お礼に歌った私達の声も狛鼻溪に響きわたりとても気持ち良かった。また来たい。帰りに私は思った。

風涼し

ゆっくり流れる 狛鼻溪



目の前

寺内 真

五月十四日、狛鼻溪で舟下りをした。空はくもる気が全くしない絵の具で描いたような快晴だった。前日より暑くはなかったが、それでも日なたにしていると汗がにじみ出てきた。

舟のりり川を行くと、上からはトンビの鳴く声。四方からは青々とした葉がそつとなでるような風にゆれる音がした。

舟の後を魚たちが追いかけてきた。魚にえさをやった。えさが水面にきた瞬間、一斉にとびかかった。時折、水しぶきがとんだ。暑かっただけに冷たくて気持ち良かった。ガラスのように透きとおった水に手を入れて魚に触ろうとした。でも、触れるわけがなかった。今度は友達と協力してやってみた。が、タイミングが合わず、あえなく失敗。できないことはわかっていたが、楽しかった。

下から上に目を向けると、切り立った岩壁が下迫力で座っていた。目を閉じると、崩れ落ちてきた時のことを想像してしまった。自然はデカイ！と感心した。

新緑の

すき間にささる 枝光る



芭蕉につづけ

星賀 さとみ

若葉しげる五月十五日、晴天なり。

古い歴史にふれるため、快い風とともにバスにゆられている。青としげった太木の葉のすきまから、青い空が見えかくれしている。うす暗く土くさいこの登り坂を、芭蕉もつえをつき歩いたのだろうか。そんなことを思いながら、一歩一歩涼みながら歩く。

坂を登り終え、光の射す方へ歩いていくと、そこはまぶしいくらい光と暑さだった。時代が変わったような感じがした。

宝蔵院のような建物の中に入ると、線香のにおいが鼻をつく。何もないような時代に、こんな素晴らしい技術があったのかと思うと、胸がしめつけられる。時間も費用もおしらずに、ただ極楽浄土だけを夢みていた仏教徒藤原三代の信仰の強さに、ただただびっくりするばかりだ。

芭蕉が光堂と言った金色堂には不思議な空気が流れていた。芭蕉が歩いた足跡をたどりながら、江戸時代と現代の約五百年を経て、芭蕉と同じ思いを共有できたことが、すこくうれしかった。「またいつか」と誓い、中尊寺をあとにした。

夏の山

古人と同じ思い秘め



紅葉館にて

酒井 達矢

とにかく、ホテル「紅葉館」の朝はすばらしい。

ちょうど5時頃。僕はみんなと一緒に部屋から窓の外を見ていた。朝日の当たる名も知らない山が見える。鳥のさえずりが、かすかに聞こえる。すんだ空気を深呼吸すると、なんとも言えないすがすがしさがわかる。来年の3年生が紅葉館に行くのなら、ぜひ早起きすることをおすすめしたい。

すばらしい朝はこれだけではない。朝食だ。なんとそれはバイキングだ。和食・洋食のどちらも楽しめる。しかも、おいしい。その日のメニューは、パン・ごはん・スクランブルエッグ・ベーコン・ポテト・うめぼし・しゃけ・みそ汁など、他にも色々並んでいた。

最後に、紅葉館の風呂について。ひるびろとした洗い場、足をのばしてくつろげる大浴場、草木の茂げる露天風呂が印象に残っている。ずっと入っていたい気持ちはなるが時間がゆるさないう。そこがまた旅の良い所なのだろう。

朝起きて

窓をのぞけば 夏の山



岩山パークランドにて

小川 隆一

くもり空の三日目。雨がふり出してきた時、岩山パークランドに
ぼくたちはついた。オープン当時は、めずらしい絶叫マシーンでに
ぎわいを見せたようではあったが、今は……まあ、それはさておき、
山の中にあるこの時代遅れの遊園地で、ぼくらはカッパをきて遊び
出した。

座席が回転しながら動くジェットコースターや、宙ぶり状態にな
るアポロなど、ほころびつつある遊園地にしては楽しい物があつ
た。なかでもスカイバードというアヒルにのって、ゆっくりと動く
アトラクションは最高であった。

ぼくらだけで乗り、ゆっくり話でもしようと思つたら、雨のいき
おいが急に強くなった。カッパ着用の意味はなくなつた。すつかり
ずぶぬれになり、もういいかとあ
きらめていた。

そしてバスに乗って立ちさるこ
ろには、雨はみごとに上がつてい
た。

夕立て

地表ぬれても 顔笑い



旅先で学んだこと

水元 聖子

修学旅行では、たくさん学んだことがあります。

一つ目は、東北の歴史です。郷土玩具や平泉の藤原家の戦い、藪
川そば、どれも私にとって初めての経験だったので、とても楽し
かったです。そして一番興味をもったのは、小坂康楽館でした。演
技も楽しかったけど、和太鼓がとってもかっこ良かったです。すこ
く迫力がありました。ライトが点滅して人の姿がはっきり見られな
かったのは残念でしたが、あの和太鼓の演奏で学んだことを、これ
からにいかしたいと思いました。

学んだことの2つ目は、マナーについてです。ルールをやぶると、
その後が楽しめなくなってしまうんです。だから、我慢するのは大変
でしたが、我ながらよくがんばつたと思えます。そういう意味では学校にい
る時より、修学旅行中の方が大変でした。食事の時も、最初はマナーの悪い
人もいましたが、みんなで食べるうちに良くなって、楽しく食べるこ
とができました。

旅先で学んだことを糧にして、これ
からの学校生活を楽しみたいと思いま
す。



宿泊研修



宿泊研修の思い出

二年A組 澤村謙太

僕は、今年の9月に、中学校生活でのイベントの一つの、宿泊研修に、行きました。最初は行くのを楽しみにしていたけれど、担任の山口先生が、「宿泊研修はしっかりやりなさい。」とか、他にもいろいろ言っていました。僕は気を引きしめ、適度な緊張感をもってとらってみました。実際行ってみると、全体的に良く、注意されることはなかったです。話しは変わるが、たくさんいい思い出ができました。中でも楽しかったのは、ホテルでした。なぜならば、寝る前にほよい緊張感があつたからです。自分たちが寝る前に、旅のしおりにいろいろ記入しなければならぬ時間に部屋から出て、おこられていた人がいたからです。その声は僕達の部屋まで聞こえてきました。他にもおこられている人がいたので、寝る時は、とても静かにしていました。

朝は決められた時間よりはやくおきて、他の生徒をおこしました。朝食はうめ干しとかなつとう、パン、ベーコン、和食から洋食までいろいろでました。味もなかなかでした。

だいたい僕の班は行動がよかったので来年の修学旅行にやくだてたいと思います。



楽しい思い出

二年B組 下村美和

私が、一番宿泊研修で思い出に残っているのは、見学や体験ではなくホテルでの事です。もちろん、見学も体験もおもしろかったです。それが、それよりも、ホテルでの事がおもしろかったです。

最初の楽しみは、夕食です。その理由は、一に、おいしいこと。二に、みんなで話しながら食べるとより美味しく感じるからです。朝食もそうです。さらに、バイキング形式だったので、好きな物を好きなだけ食べられたから満足でした。

次は、お風呂です。レクのバスケットを動かした後に入るお風呂は、最高でした。露天風呂も気持ちよかったです。きわめつけは、風呂あがりのビール。では、なくて、風呂あがりのジュース。またこれが最高においしかったです。

お風呂からあがって、荷物の整理など日誌のまとめなどをしていたら、もう、就寝時間になってしまいました。私達の班は、小さな声で、しりとりやおしゃべりをしていました。すると、先生が来て怒られてしまいました。あまり夜ふかしもしないでちゃんと寝ました。そのおかげか、次の日は、ボートのオリエンティングでは、寝むいことは、寝むかったけれど、そこまでつらくはありませんでした。

オリエンティングと写真撮影が終わると、「もう、終わったのか。」という実感と同時に「修学旅行が待ち遠しいな」という気持ちがあり、わいてきました。「ああ、早く修学旅行に行きたいなあ。」と。

一泊二日の宿泊研修

二年C組 山田奈里美

「早くホテルに行きたいな。」がやがや話し声が聞こえるバスの中、私はこんなことを考えていました。こんなことを言うと「気が早いなあ。」などと思われてしまうかもしれません。しかし、私が一番楽しみにしていたこと、それこそが「ホテル」だったのです。

今年度の宿泊研修には江差も加わり、いつもより見学範囲が広まりました。しかし、正直言って江差エリアはあまり期待していませんでした。それが、さらに「早くホテルに行きたい。」という気持ちを強めていたのかもしれませんが。

バスを降りると、開陽丸や中村家、郡役所や追分会館を見学しました。思っていた以上にずっと楽しく、とても勉強になりました。いや、宿泊研修だったからこそ、楽しかったのかもしれませんが。ブター作りも楽しく、宿泊研修という行事のすごさを実感しました。

ホテルに到着し、班長会議を終え、皆と和気あいあいと話している時間はやはりとても楽しいひと時でした。晩ご飯もおいしく、夜は興奮して、なかなか寝むれませんでした。ただ一つ残念だったのは友達を熱を出してしまい、体調も悪化したため帰らなければならなかったことです。できれば、最後まで一緒に宿泊研修に参加したかったです。きっと友達も同じ気持ちだったと思います。

翌日、またがやがや話し声が聞こえる帰りのバスにゆられながら、今度はこんなことを考えていました。そう、「この2日間、とてもたのしかったな。」と。

1・2年 学級プロフィール



一年A組

一年A組について

阿部 眞美級

私達のクラス、一年A組は、とてもいいクラスです。何がいいのかというと、まず、とにかく明るいです。先生にしかかれても、ぜんぜんいつも明るくしています。明るすぎるくらいです。でもその中には「うるさい」という文字も入っていて、たまにというか、いつも先生の声が鳴りひびきます。「うるさい」と「明るい」はちがう。みんなの心の中が明るく輝いていれば、「明るい学級」。こうして、しかられていては心の中は暗くなるでしょう。おしゃべりやいたずらはやめよう。と高音のすばらしい声が教室に鳴りひびきかえって、うるさくなります。

あと、絵のうまい人がそろっている学級です。文化祭校内ポスターコンクールで入賞した人が学年で一番多かったのです。学級努力賞までいただきました。きつと観察力や洞察力にすぐれた人が集まっているのだと思います。そして、合唱コンクールでは、毎日練習しましたが、他の組に比べて声が小さかったのですが、バランスよく歌うことができました。ちょっとハニカミヤさんがそろっているようですが協力せいはある学級だと証明されたと思います。

また、体育大会では、精いっぱい力を出したのですが、体力不足で、三位でした。きつと箱入りむすめ、息子の多い学級なのでしょう。

こういうメンバーと、ちょっと注意することが多いけど、みんなのことをきちんと考えてくれる担任の阿部先生と、ちょっとコワイけど優しい副担任の鶴先生とで構成されているのが一年A組です。



一年B組

これがB組だ

七宮 義通級

明朗活発というエンジンでみんな元気な走る。それがこの一年B組です。人数は18人の男子と18人の女子と担任の七宮先生の総数36名で、一人一人の個性がしっかり合ってあての中にある「お互い協力しあえるクラス」が少しずつ形になってきている所があります。にぎやかな反面男子同士、女子同士それと男子と女子のけんかは何回かおこってきました。でも最後には、先生と、時には自分達で話し合い、わだかまりもなく解決するので、それはそれで、このクラスのすごい所です。このクラスの紹介に欠かせないエピソードは秋にあります。今年の秋、文化祭の中にあつた合唱コンクール。最初の話し合いはよかったものの、実際歌をうたってみると、本番とはかなりかけはなれたものでした。はずかしさからなかなか出ない声、人まかせな態度、先生の顔にもくもった所があり大苦戦。朝練などパートリーダーを中心に、毎日歌いそして、文化祭当日、今までで、最高の出来でした。どこか体系的な七宮先生が後ろから押したのもあり、優勝は出来なかったものの「熱演賞」をもらいました。みんなが色々な苦勞をもらったこの賞は一年B組にとって意味のある賞なのです。これからの期間このクラスとして経験したことを生かし、もっと自分をよく見直して「二年生へつなげるクラスづくり」をしていきます。



一年C組

自慢できるところがこのC組

桑野 健一級

こんにちは！私達、一年C組は自慢できるところがいっぱいの、桑野先生をはじめとする女子十九人、男子十八人の合計三十八人のクラスです。とっても仲が良く、でもけじめがないうるさいところもある、おもしろおかしいクラスです。

うちのクラスは生徒一人一人がそれぞれ個性を持っています。例えばスポーツ万能なスポーツ系タイプがいたら頭がよくてマジメすぎるほどマジメな優等生タイプ、歌うことや楽器を演奏することなど音楽が得意な音楽系タイプなど。いろいろな人がいます。その中で桑野先生は、何事にも熱中・集中し、常に一番を目指す//というような金八先生のような先生です。私達から見た先生は、あいつに敵しくて、とにかく話しているか歌っているかです(笑)。

そして、何よりもクラスのチームワークがよく、校内体育大会では惜しくも二位。文化祭の合唱コンクールは金賞☆というすばらしい結果を残すことができました。どちらも桑野先生を中心に朝練など、練習に力を入れがんばった成果だと思っています。

あと数ヶ月でこの一年C組の仲間とも、先生とも、そして、一年間すごしたこの教室ともお別れです。二年生になって同じになる人もいると思います。でも、この二度とない一年C組を、一日一日を大切にすごしたいと思っています。



一年A組

2年A組！ 山口先生！

山口 哲也 級

私たちのクラス、二年A組は、「木曜ドラマ・金八先生」の生徒達より個性的な生徒ばかり。担任の山口先生も金八先生に負けないくらい生徒のことを考えてくれる、とってもいい先生です。

さて、今回は、このクラスのいいところを3つお教えしましょう。まず1つめは、男女の仲がとていいことです。普通のクラスだったら、男女同士のケンカが一回、もしくは二回ほどある…と思いますが、私たちのクラスはそんなこと一度もないんですよ。素晴らしいです！

次に二つ目です。二つめは、クラス全体が明るいことです。特にテスト終了後なんかはピークに達し（いや、どこのクラスもそうなのかもしれないが…）「うるさい！」と先生に怒られるほどです。いつも笑いが絶えない2年A組。しかし、なぜか給食時間になると、しーん…となつてしまいます。不思議ですな。

それでは最後に3つめです。3つめは、なんといつても授業態度がよいことでしょう。それまでベチャクチャ話していた人も授業になるとピタッとやめて集中します。先生方によれば、「A組は二年生で一番授業に集中しているクラス」なんだそうです。いやはや、光榮です。

なにはともあれ、二年生生活もあと数ヶ月。それが過ぎたら、私たちもついに三年生です。それまで、私はこのクラスのみならず、おもいっきり楽しみたいと思っています。

（代議員 渡辺 結衣 記）



二年B組

団 結 力

笹原 五郎 級

二年B組は、男子十五、女子十六、合計三十一名、明るく個性豊かな団結力のあるクラスです。

二年生になって間もない体育大会では総合一位。続いて合唱コンクールでは金賞をとりました。その他にも個人賞をとったりと教室には、たくさんのお賞状が飾ってあります。しかし、この賞状一枚一枚は私達だけの努力と団結力だけでは得られなかったと思います。その影には、担任の笹原先生が熱心に指導し、時に励ましてくれたりしながら常に私達を信頼し、応援してくれている気持ち、一人一人に伝わったからこそ手に入る事ができたとても重みのある賞状だと思っています。

先生は、き帳面で真面目で勉強熱心で、とくに数学の時間では、わからない所があると最後まで丁寧に教えてくれます。そして、時には厳しく怒ってくれるとても生徒思いな先生です。それが先生の良い所です。

そんなB組にも、なおしていかなければならない事があります。それは、休み時間と授業時間の「けじめ」をつける事と「忘れ物」をしない事です。

あと少しで三年生になり、またクラス替えがあり別々になってしまいますが、このクラスで学んだいろいろな事を生かし、大切な友達と時間をムダにせずにお過ごししたいと思います。

にぎやかなクラス

渡辺 淳級

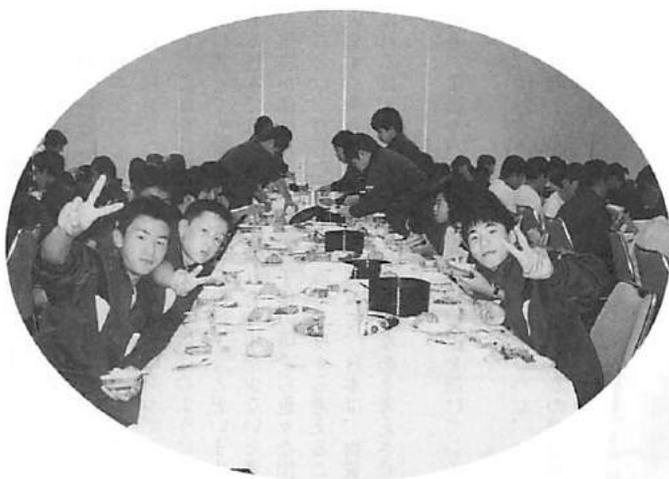


四月からスタートした2年C組も、もう一年が過ぎようとしています。最初はとてにぎやかなクラスでした。今では、授業中や学活の時は、毎日のように先生に注意されています。

こんなクラスですが、長所は、にぎやかで、何ごとにも一生懸命な生徒がたくさんいるところです。短所は授業中、注意されるのもそうですが、その他、楽しくやる時と、一生懸命やる時との区別がつかないところです。

行事については一生懸命がんばるクラスです。最初のほうは、不真面目な生徒も本番に近づいてきたら真面目に練習に取り組んでいます。でも体育大会では、三位でした。この結果に悔しがった生徒や渡辺先生は文化祭の合唱コンクールに力を入れました。でも結果はサウンド賞で金賞はとれませんでした。悔しがる生徒もいました。でも、一番悔しがっていたのは、渡辺先生だと思います。そんな渡辺先生を紹介したいと思います。渡辺先生は英語がとても上手です。授業の時はたまにAETの先生がくるとAETの先生と流ちょうな英語で話すので、生徒は何を言っているのかわかりません。また、渡辺先生は自分のことを「ハンサム」とか「ヤング」といってみんなを笑わせます。でも、みんなはただ笑うだけで、失礼ですがだれもそうとは思っていません。しかし、渡辺先生は、英語の授業の時は、とてもわかりやすく教えてくれるので感謝しています。

三年生まであと少しの間ですが、渡辺先生これからもぼくたちの指導をよろしくお願いします。



校外学習体験記

国境を越えて

三年C組 石川 洋平

ハバロフスクでの五日間は、本当に楽しくて、あつという間に過ぎてしまいました。

帰って来てからしばらくは、夢の中の起き事のように思われて、本当に行ってきたのかなあと考えるほどでした。神秘的な大陸の自然とロシアの子供達の笑顔にふれ、時間の経つのを忘れるほど楽しくて、そんな気持ちになったのだと思います。

それでは、その不思議な旅の一部を紹介します。まず、中国とロシアの国境沿いを流れるアムール川は、とてもきれいだと思っていましたが、実際は、茶色くきたない川でした。しかし、アムール川を遊覧してみると、川というよりは、まるで湖か海のような広大さにとっても驚きました。

ロシアを、ほぼ、端から端まで横断するシベリア鉄道には、二時間ほど乗りました。三泊目だったということもあって、僕の疲労はピークに達し、睡魔がおそってきました。その日は、満員で寝るにも寝られず、かといって、外の景色を見ようとしても人の頭しか見えませんでした。なにかもが広大なロシアでも、客席は狭いんだなあと思いました。優雅なシベリア鉄道の旅は、意外にもラッシュの電車のようなでした。

このように思い出はつきませんが、中でも一番印象に残りまし

かったのは、民族アンサンブルでの交流会です。すばらしい民族舞踊の歓迎で緊張していた気持ちもほぐれ、僕達も歌と踊りのお返しをすることができました。内容は、なんとスマップの「ライオンハート」です。ロシアの子供達や先生にすこくうけて、たぶんロシア語で「ステキー」とか「カッコイイ」とか叫んでいたと思います。テレビ局がスカウトに来たらどうしようと思うぐらいおおうけでした。この交流でロシアと日本の距離が一気に近づき、国境を飛び越えたような気がしました。文化や言葉の違いはあっても気持ちは通じるものです。これから、僕もロシアの子供達のように、おおらかに、積極的に誰とでも接するように心掛けようと思います。

島国である日本では、異文化とふれ合う事が少ないと考えられます。今回、僕達が体験したように、子供の頃から色々な国の文化や人になれることは、自分の国をあらゆる角度から考えることにつながると思います。僕もロシアに行ってみて、日本は、物質的に豊かで物があふれるほどあるのに、心は貧しいなあと考えさせられました。

これからも、手紙やパソコン通信等で交流を続けていくつもりです。

このような、国際交流が盛んになることによって、ニューヨークで起こったテロのような悲劇も防ぐことができるのではないかと思っています。



中国の大都市を訪ねて三千里未満

三年C組 佐々木 ひかる

この秋、チャーター便で憧れの地・中国へ旅立った。市内中学生十九名と、引率の先生方とともに。海外派遣というやつだ。

市の企画として行ったのだから、主に学校訪問やらホームステイやら、改まった場に行ったが、万里の長城等、観光地へも訪れる事ができた。気にしていた少ない時間も、なんとかつくれた。

あの広大な土地よりも、物価の安さなんかよりも、人口の多さよりも、何よりも驚いたのが、中国の中学生、否、幼児を含む子供達のレベルの高さ。日本の教育委員も彼らを見習うべきだろう。話をきくと、まだ幼いうちから日本で言う塾のような施設に入れられて日々様々な事を学んでいるらしい。皆が自信のあった英語も、遺愛の生徒でさえ、彼らと接触した後、自信を喪失したらしい。私自身、うまく伝わらなかつた話もあったが、つたない中国語は何とか通じたようだった。

ホームステイ先で、中国の教科書を見せてもらったら、二年生とは言え、けっこう難かしい内容だった。恐るべし中国!!

だが、ホストファミリーは三人とも良い人だった。お父さんは日本語話せるし、お母さんはとにかく良い人だし、娘の李想は、なんと言うか、めんこい娘だ。口数も少かつたが、良い子だった。

うっかり寝坊してしまったり、いろいろ迷惑をかけてしまったが、本当に良くしてくれた。別れた後も、今も、「こんなに良くしてもらってバチ当たんねえべか。」と心底思った。

そして、本当に、ホストファミリーと別れた時は、皆が皆、号泣していた。理性ではわかつていても、涙が止まらないらしく、バス

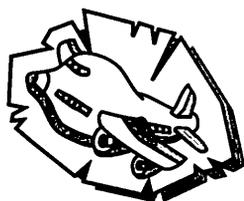
の中でもずっと友人が泣いていたのを、今でも鮮明に覚えている。今回の企画での何よりの財産となったのは、「出会い」……だろう。やはり。

海外派遣団員をはじめ、訪問して、旭岡中の姉妹校となった実験中学校の生徒、バスガイドさん三名、そしてホストファミリーの皆。国内という殻を破って一歩外へ出てみれば、いろいろな出会いがあり、別れもあり、ドラマがある。

井戸の中の蛙という言葉も実感できた。
勉学への向上心もできた(かもしれない)。

そして明るくなつたかもしれない。とにかく、笑顔が多くなつた。
「出会い」は人を変える。し、「百文は一見にしかず」。今回の企画で学んだのは大きく分けてこの二つ。きつと一生の財産となつて将来役立つことかと思う。

三者懇談会でも、中国行つてから変わった、生き生きしてきたと先生からも言われ、お母さんからも「楽しそう。」と言われた。
このように私を変えた企画、そして支えてくれた皆様に感謝。謝謝。

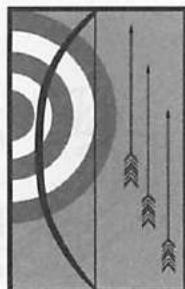
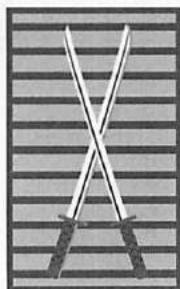
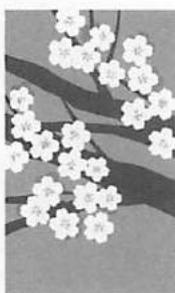
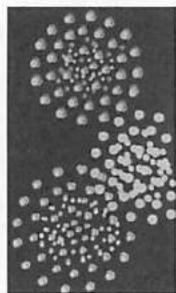


野外劇に参加して

高 畠 美 里

私たち三年生は、総合学習で野外劇に参加することになりました。野外劇に参加するのは初めてという人がほとんどで、皆、最初は面倒くさい、疲れるなどと思っていました。でも、少しずつではあったけど、野外劇に自ら触れることによって野外劇に対しての気持ちも、面倒くさいなどという気持ちではなく、野外劇を楽しもうという気持ちに変わっていました。

私たちは、野外劇に参加することだけが目的でなく野外劇についての調査をしなければなりません。私は舞台裏調査隊ということで、野外劇の参加者の裏方さんに行くつかの質問をすることにしました。しかし、舞台裏にいる人達は、皆忙しそうで、思うように調査は進まず、時間だけが過ぎていきました。でもこれではさすがにいけないと思い、少しずつ調査を進めました。ほんの少しではあったけど、なんとか無事に調査は終わりました。調査したことを学校で見えて思いました。「野外劇の参加者の裏方さんは、野外劇に対して熱い気持ちをもって、楽しく野外劇に参加しているんだな」と。私は野外劇に参加して、勉強になったことがたくさんありました。そして、大勢の人達の力で一つのものを作りあげることの喜びを学ぶことができて、いい思い出となりました。



文苑

赤ちゃん

三年 大塚 真衣

突然足が動いた
被っているふとんを勢いよくはねのける
小さな体を力一杯動かしてから
自分の敷地の上に大の字になって
こつちを見つめている
頭をなでてみた
にぎった手をばたつかせて
おねねの体勢になる
体はポカポカして温かかった
その温かさが生きている証
新しい命の誕生の証

静かな夏

三年 酒井 亜沙美

毎年聞こえる蝉の音が
今年はずっと少なかった
毎年聞こえる蛙の音が
今年はずっと聞けなかった
今年聞いた音は

車やバイクのエンジンの音ばかり
たまに救急車の音が聞こえたり
パトカーの音が聞こえたり

それでも今年の夏は

ちよつと涼しくて

ちよつと静かで

そんな夏もいいだろう

青空

三年 高橋 美早

青空は

わたしに元気をくれる

青空はわたしを
はげましてくれる
パワーをくれる

青空には友達がいる
元気がいいときには太陽が
暗くなるとうや星が
機嫌が悪いときには雲が
あそびに来てくれる

青空もときどき

悲しくなるときがある

涙をながすときがある

そのときにはもちろん

雲も一緒にいる

あまり青空が泣きすぎると

人間達が困ってしまうときがある

冬になって青空が涙をながすと

太陽の光がやき

ダイヤモンドダストとなって

落ちてくることもある

青空は喜怒哀楽がはげしい

青空はわたし達を

優しく包みこんでくれる

いつでも見守っていてくれる
だからそんな青空が
わたしは好きだ

「そこに僕はいた」

を読んで

三年 東 晃 子

私は学校が好きだ。そう強く思ったのは、
きつこの本のおかげだろう。学校にはイヤ
な奴も大勢いるが、大好きな友達はその以上
沢山いる。向こうは私のことをどう思ってい
るかはわからないが、そんなことはどうでも
いい。私は勝手に彼らのことを「友達」だと
思っている。

この十八篇のエッセイは、作者の小学校か
ら高校までの出来事を物語る。ページの隅々
で、辻仁成が生き生きと躍動している。背景
はちように高度成長期。その頃の世代の人な
どには、ああ、そういうええばそうだったと思
い出されることばかりだろう。しかし、私には、
そうした部分にも新しい面白さがあり、世代
的な共感を超え、少年や青年の屈託のない微
妙な心理のあれこれに共感し、共鳴すること
ができた。手の届かないお菓子「ヨグール」

や、すごく凝っていたブラモテル。眩しく見
えた新聞配達少年。大切だった漫画。アマ
チュアロックバンド。初恋、友人、転校、喧
嘩、夢……。

ブラモテルがテレビゲームに変わっても、
そこには誰もが一度は体験する光に満ちた原
風景があり、そして、今では多彩な活動を繰
り広げる著者も、普通の少年・普通の青年
だったことが語られていて共感が湧く。

しかし、どこにでもいそうな少年が青年に
成長していく途中の出来事を語っているの
に、まるで普通でないところがある。それは
全篇に共通している特徴で、作者の心理や内
的な葛藤を語るときでも、必ずそこに友人が
絡んでくるということだ。少年は友人と出逢
い、新しい世界を知り、青年は友人との別れ
によって世界の深さを知る。そんなことは当
たり前だという人もいるかも知れないが、本
当にそうだろうか。

本書にはとてもユニークで様々な人たちが
登場する。初恋の人、なかとみえみこ。大金
持ちの息子、アリタ君。電車の事故で片足を
失ったあーちゃん。新聞配達少年。変わり
者、ゴワス。その姿が生き生きと描かれてい
るだけに、エッセイとは言っても小説にも似
た感触がある。ともかく、小説を読んでいる

ような錯覚を覚えるのは、登場人物があまり
にも鮮やかに活写されているからにほかなら
ず、作者は少年時代から他者というものに深
い関心を寄せていたことをうかがわせる。

それが辻仁成という人間の大きな特徴では
ないかと思っている。自己や自我に縛られて
身動きがとれなくなることは、彼には決して
ないだろう。それは世界というものを人間と
人間の関係、人間と都市の関係、人間と自然
の関係、そして人間と言葉の関係というもの
の中で考え、人間にとっての自由というもの
を探そうとする辻仁成ならではの姿勢による
ものではないだろうか。だから、クニヤンが
辻仁成を忘れても、辻仁成はクニヤンを覚え
ている。「僕は彼らのことを憶えている」とい
うタイトルは、太陽に挨拶をしながら辻仁成
に、とてもふさわしいもののように私は思う。

友達をつくる、とよく言う。小学校の頃、
新しい先生や親はよく私に「良い友達を沢山
作りなさい。」と言った。私は彼らが言う言
うたびに「違う。」と心の中で反発したものだ。
友達は作るものではない、私は今でもそう
思っている。友達を作るなんて第一友達に失
礼だ。第二に作った友達は偽物のような気が
する。

友達、友達と言っているらばかりが

友達ではない。いつも一緒にいた奴らよりも忘れられない友達が後になってたくさん現れたりするものである。だから私は友達の間口をさらに大きくとらなくてはいけないと思うようになった。友達という言葉には、本当は私たちが想像しているよりもっと大きな意味が隠されているのだ。

辻仁成はとても友情に厚く、誰よりも熱い情熱家である。彼は自分が書くものによつて現代では失われがちな何かを語り、訴える。そんなひたむきな彼の姿に、私は一步でも近づきたい。

「日本一短い母への想い」

を読んで

二年 浜地直宏

この本は、六五七八八通の手紙の中から選ばれた、二〇〇篇の母への手紙が書かれています。その作品の中には、感動するもの、悲しくなるもの、母親を批判するものなど、自分が母親に対して思っているようなことがたくさん書かれています。その中でも、特に心に残っているものを紹介します。

「雪のふる中、校門をくぐるお母さん。僕は

はじめて、悪いことをしました。」

林 真 (二十五歳)

僕はこの短文を読んだとき、すごく林さんがかわいそうに思いました。家事などの仕事で忙しいお母さんが、自分のせいで雪の降る中、校門をくぐっている姿を見る林さんを想像したからです。ふつうに考えれば、悪いことをした林さんが悪いと思います。しかし子供というのは、親にはどうしても心配だけはかけたくないものです。なのに心配をかけたしまった林さん。たしかに校門をくぐるお母さんともとても悲しい気持ちだと思います。しかしそれ以上に、学校から母親の歩く姿を見ている林さんの、母へ今すぐにでも謝りたいけれど謝れないという気持ちを考えたら、僕自身もとても悲しくなりました。僕はこの短文を読んで、親に心配をかけるようなことは決してしてはいけないんだということを学んだような気がします。

「母の日、来年もあると思つてた。ごめんね。十八年たつても悔やんでいる。これからも……。」

諏訪野 ゆり (三十歳)

この短文を読んだとき、心にツーンと悲しみが伝わってきました。母の日は毎年あると思つていたのか、今年は何もしてやれなかつ

たから来年何かしてあげようと思つていたのに、母がポツリと消えてしまった。その時の諏訪野さんの気持ちを考えると、とても胸が痛くなります。僕はこの短文で、「母の日」や「父の日」などの、本当の必要性を教えられた気がします。

「イモがおいしいって、ご飯たべなかつたわけ、今になって分かつたよ。ありがどう。」

武井 幸夫 (六十二歳)

この短文からは、戦争のせいで、食べ物がいまも食べられなかつた時代が想像できます。今となつては普通に食べているご飯。しかし昔では、貧しい家では食べることで食べることができないから、せめておまえだけでも食べてくれという母親の気持ちが強く伝わってきます。きつとこの頃はまだ幼かつたので、イモがおいしいと言つて食べている母を見ても不思議に思わなかつたのでしよう。もし僕がこの立場で、なぜ母親が米を食べないのかを知っていたら、きつとお母さんに、「僕はご飯が嫌いだ。イモのほうが好きだ。」と言つてご飯を食べなかつたでしよう。きつと武井さんも解つていたら、僕のようにしたか、もしくは母親の分まで一粒一粒あじわつたことではしよう。この短文で学んだこと

は、母親は自分優先でなく、子供優先で育ててくれているということですよ。

「お母さんは、磁石なんだよ。それで僕すぐくっついちゃうんだ。だから怒らないで。」

小坂 玄樹(六歳)

お母さんにどうしてもくっついてしまうことを、お母さんは磁石なんだよと比喩表現を使って書かれています。僕は六歳なのにうまい短文を作るなあと驚きました。たしかに皆小さい時は、磁石のように母親にくっついてしまいます。これはきつと人間として生まれてくる限り、当たり前なことなんだと思います。この当たり前のことをうまく書いています。小坂君は、きつと素晴らしい才能の持ち主に違いないと思いました。

最後に紹介するのは僕が一番心に残っている短文です。

「私は捨て子。あなたのおなかに入れてあなたに拾われたのです。」

青木 真純(十七歳)

最初にこの短文を読んだとき、全然理解ができませんでした。しかし詳しく考えているうちに、本当は捨て子ではないけれど、捨て子だと思えば母親の事が嫌いなのではないかと思いました。青木さんがこのように思うには、きつと何か原因があるはずですよ。その

原因が何であるかが解らないうちは、きつと母と娘にできた溝はうめられないでしょう。早くこの親子の溝がうまればいいなと心から思います。この短文からは何も学ぶようなことはなかったけれど、このような悲しい家族もあるのだと思いました。

このように、この本を見ただけで、母親の子供への愛情は、子供が生きていくために必要不可欠なものだということがいっそうわかります。しかし、最後の短文のように、母子の間に深い溝ができてしまっている家庭もたくさんあるでしょう。しかし、いつか溝がうまる日が来るでしょう。少しでも早くその溝がうまることを僕は心から願っています。

「落ちこぼれてエベレスト」

を読んで

一年 鎌田 瑛浩

この本は、アルピニストの野口健さんが十六歳でモンブランに登頂したのを始めとし、二十六歳でエベレストに挑戦。三度目にして念願の登頂を成功させ、十年間で七大陸最高峰を世界最年少で達成した様子を、野口さんが書いたものである。

僕はこの本を読むまで、コマーシャルに出た子供たちに人参を見ている野口さんしか知らなかった。「アルピニスト」野口健と紹介されていた野口さんは、とても穏やかな顔をしていた。その野口さんが、こんなに過酷なことに挑戦し続けていたのだ。

七大陸最高峰は、モンブラン、キリマンジャロ、コジアスコ、アコンカグア、マッキンリー、ビンソン、マツシーフ、そしてエベレストである。(中国側からエベレストに登るときは「チョモランマ」、ネパール側からは「サガルマータ」と呼び、アプローチの方法はいろいろある。)この七つの山々は、危険で厳しい山々でもある。この他にも七大陸最高峰に入っているという説のあるエルブルースや、訓練のために沢山の山々に登っている。

野口さんには五つの国の血が入っている。アメリカのボストンで生まれ、日本に帰国したが、小さい頃は「外国人」ということでいじめられていた。だんだんと勉強もしなくなり、将来のことを考えることもしなくなり、生活も荒れてきた。中三のときには停学ということにもなった。そのとき植村直巳さんの著書「青春を山に賭けて」という本に出会い、その本が野口さんの人生を変えきつかけとなった。

高校生になり、「山登り」という目標を見つけた野口さんは、次々といろいろなことを吸収していった。

山では持ち物の整理をすることも、自分の感情をおさえて人と協力しあうことも、とても大切だ。沢山の人の力を借りて、初めて山に登ることができるし、甘えの気持ちは死を意味するからだ。学校では落ちこぼれだったかもしれないが、純粹に冒険を続けたく、自分の命を賭けて本気になって戦える山の面白さに、どんどん野口さんは引き込まれていったのだと思う。

山に行くにはシェルバをやとって行く。山に登る野口さんに危険がいつもあるように、一緒に登るシェルバにも同じ危険が降りかかる。しかし登山家はお金でやとっているのだから、あくまでも私が主人という態度をとる人が多いそうだ。シェルバを自分の大事なパートナーと呼ぶ野口さんには、シェルバの友達も沢山できた。

僕はオーロラをいつか見に行こうと思ってるので、「地球の歩き方（アラスカ）」というガイドブックを持っている。その本の中にある山の写真を見ると、このマツキンリーを野口さんは単独で登ったということが、とてもすごいことなのだと思えた。す

ごいを通りこして恐いと思ってしまう。このマツキンリーは、植村さんが一九八四年に単独で登り、今も眠り続けている山だ。山の上に行けば行くほど音のない世界……この周辺で生きている生物は自分一人……。孤独だ。落石、雪崩、高山病、クレバス、凍傷、一瞬の判断が生死を分ける。ソリに四〇キロ、リュックに二〇キロを背負ってスキーで歩く。クレバス落下防止のための二メートルの竹竿を腰につける。スキーのストックも折れ、クレバスに落ち、やっとの思いで脱出し、時計も紛失して時間もわからなくなった。それでも野口さんはマツキンリー登頂をやりとげた。僕は絶対運だけではないと思った。ものすごい精神力、必ずやりとげるといふ気持ちで成功させたのだと思った。

七大陸最後はエベレストだ。野口さんは一回目、肋骨を折って体力も持たなく、敗退した。二回目は気持ちのあせりから、距離の短いネパール側から登ることを選び、いつも動いている氷塔（アイスフォール）を登ったが、そのときに骨折した所を悪化させて、あともう少しというところで撤退を決意した。そして、お金のこともあり、最後となる三回目に挑んだのだ。エベレストに一回登ると、十キロも体重が落ちる。今回は、充分に体力をつ

け、じっくり考える時間もあつた。体力のことを考えて最初からアタックは一回と決めた。キャンプ地でアタックを待って、十年間もこだわった最後の頂へ一歩ずつ登っていった。そして登頂に成功。十年間で七大陸最高峰世界最年少登頂を成し遂げた。

野口さんは今、「シェルバ基金」という、生活のために山に登るシェルバを守る活動をしている。シェルバの死は報道されることがなく、成功の栄光しか伝えられない。野口さんが兄弟のように大切に思っていたシェルバは、日本人のポーターとして山に登り、雪崩に会い死んだ。日本のマスコミは、登頂成功のニュースに傷がつくと、シェルバの事故死にふれない。シェルバなしでは八〇〇メートル峰には絶対に登れないのに……。

野口さんのもう一つの活動はエベレスト清掃登山隊だ。エベレストは今、ゴミまみれになっている。その中でも日本隊の残したゴミが一番多い。野口さんは第二の冒険を始めた。この本の中に、「いつも背伸びをしていればいつかは背が伸びる。」という言葉があつた。僕はこの言葉にドキドキし、大好きな言葉になった。夢を持ち、そして挑戦すること……僕はどんな大人になれるだろうか。

人に話す勇氣を持つて

二年 渡 辺 結 衣

わたし達の今の時期は、ちょっとしたこと
で悩んだり、イライラしたりすることがとて
も多いと思います。悩んで……その

苦しみから少しでも解放されたくて、シン
ナーやたばこなどの非行に走ってしまう人も
いるでしょう。でも、私は、そんなことをし
ても苦しみからは解放されなれないと思いま
す。だって、それはただ単に苦しみから目をそむ
けているだけだから……。逃げていても、何
も解決なんてしないのです。

私も、つい最近まで、とあることで悩んで
いました。誰かに相談することもできず、一
人で泣いたり、イライラしたりしていまし
た。そんな、ある日のことです。

合唱の練習が終り、家に帰る準備をしてい
たら、突然、担任の先生が声をかけてきまし
た。私は、合唱の歌いかたが悪かったのかな
……。怒られるのかな……。と思いました。しか
し、先生の最初の一言は予想とは全然違っ
たのです。

「今、何か悩んでいることがあるだろうか？」

……私が悩んでいること、苦しんでいるこ
となんて、誰もわかってくれないと思っ
ていました。だけど、先生は、私の表情や態
度が妙にカリカリしていたことに気付いたら
しいのです。私自身、そんなことに気付いて
いなかったのに、なぜか先生は気づいていま
した。

私は、自分のことを気にかけてくれた人が
いたこと、自分のことを心配してくれる人が
いることがわかって、嬉しくて、なぜか涙が
あふれてきました。そして、このとき改めて
「先生」という存在の偉大さを実感しました。

私は、正直言つて人と付き合うことがあま
り得意ではありませんでした。人と話をする
という、普通の人には何でもないことが、私
には何よりも難しいことだったので、私
は、今でも変わりありません。だから、友達
と話すのもことなきにちかなくて、自分の
本心も言えないままでした。悩みのことも、
人に話すなんて恥ずかしいし格好悪い！絶対
に嫌だつて思っていました。だけど、悩みを
友達に打ち明けたとき、この考えかたは間
違っていたことがわかりました。

部活のことや勉強のこと、友達のこと、そ
して今まだ見えない未来のこと……。きつと
みなさんにも悩みはたくさんあると思いま

す。それは人に話すことのできない悩みかも
しれません。でも、悩みは一人では解決でき
ません。私は、このたった一つの結論にたど
り着くまでに、たくさん時間をムダにして
しまいました。

もしも今、何か悩んでいる人がいたら、恥
ずかしながら誰かに話してみてください。自
分が本音で話してみれば、その分相手も本音
で返してくれると思います。人に話しても悩
み自体はなくなるかもしれませんが、しか
し、ずっと一人で悩んでいるより、友達や家
族と一緒に悩んだほうが解決するのも早いと
思うし、だいぶ楽になれると思います。

だから、勇氣を持ちましょう。
私は、もう持つていきますよ。
悩みを人に話す「勇氣」を……。

〔私の主張〕発表作品



俳句 (三年)

雪降りて道南の町白くなる

高橋 和也

お年玉いっぱいもらって大金持ち

鶴喰 真仁

氷めに足をすくわれ地面蹴り

寺内 真

雪景色見るとスキーやりたくて

宮崎 剛

五稜郭白の星へと雪化粧

山谷 佳祐

冬の朝冬眠したい気分かな

吉塚 竜也

赤ペンのインクなくなる外は雪

伊藤紗智子

生ゆえの白い幸せ雪運ぶ

佐藤ありす

この寒さやっぱいいいねえ北海道

関口 百子

軌跡らの残りし雪も流れゆく

東 兎子

ふと気づきグラウンド見れば雪野原

平松 朋忠

雪景色空に輝く月と星

若杉 友里

手袋のぬくもり頼りに過ごす冬

工藤 充

オリオンと犬がたわむる冬の夜空

小上 優

窓の外見わたすかぎり雪景色

小林 達也

寒い日に友と作った雪だるま

留原 翔平

焼きたてのモチをほおぼる十二月

橋本 智

しんしんと降りつもってゆく白き雪

早坂 隆弘

白道にまっすぐ見つめ足つける

伊藤 正枝

雪がとけのぞかす土が懐しい

工藤 幹子

外見ればライトをまどう五稜郭

張磨 真帆

雪の夜窓の外には白い花

筆村 美里

白雪の足跡たより探す猫

本間久美子

雨降れば窓に頭よせ雪惜しむ

増谷 美里

雪原をキラキラ染める陽光よ

松田なぎさ

雪山に思い焦がれる入試前

石川 洋平

同級生ストープに集まる休み時間

小椋 裕喜

大人だな今年には氷柱取ってない

村馬 康太

春恋し北風肌刺す通学路

藤島 直哉

冬休みやっぱりこれだぜキムチ鍋

森 浩平

初もうで鐘を鳴らして福を呼ぶ

大内ももこ

冬だけは白く染まるよ青い空

佐藤 望

今の時期氷柱も受験生もどがつてる

多田 莉彩

年賀状新年早々大あわて

藤井絵理華

やりたいな昔懐しそりすべり

水元 聖子

絵馬に書く自分の指がふるえてる

水戸部未来

帰り道貴方はいつも雪まみれ

山本 理忠

短歌（二年）

いけないジャージ姿にどろんこ靴それでも私テニス大好き

村上 佑奈

練習に気合いを入れて取り組めばきつと優勝さあ中体連

沢村 謙太

妹の不安な気持ち感じる日襟の花よ満開になれ

佐藤 綾香

いつだって時は勝手に流れてく流れることなど望んでないのに

伊藤 祐樹

本当は直接言っただけ伝えた母にひどいこと「ありがとう」と

田中 亜希子

春の声まだまだ遠い冬の道白い吐息がなぜか切ない

内川 由貴

アルバムを手に取りじっくり思い出すあの時のキモチあの日の自分

波辺 結衣

冬休み毎日勉強しようとは思いますが今日も遊んで終わる

生島 裕希

病む地球飢える難民見るたびに世界は一つ目指せ平和を

中西 理沙

大空にばかりと浮かぶわた雲がぼくのようだとふと考える

原田 上総

冬の夜電灯ともり雪たちが淡い光の中で踊るよ

篠崎 菜摘

静かな夜ぼんやり光る街灯がやけにさみしい雪明かり街

近藤 由規

「より速く」時間に追われる現代人たまには自分の足で歩こう

片桐 奈美

明日へとまた明日へと続く道勇気を込めて踏み出す一歩に

大國 亜美

悲しみを乗り越え生きる人々に今年は平和あれよと祈る

信田 真利

雪が降り白一色の窓のそと心休まる静かな夜かな

川村 佳菜恵

夜遅く本を読んでは夢を見てよい場面だけ私は参加

丹羽 裕香

お年玉もらってうれし子どもかなうれし子どもにかなし親かな

上杉 健太

大みそかテレビにうつる鐘よりも船の汽笛に耳かたむける

干場 衣知乃

寒い日におもてで遊ぶ妹をこの時だけはちょっと見直す

和泉 愛美

中体連去年は見事優勝し今年も絶対優勝するぞ

今野 翔

時流れ世界がどんなに変わっても天の星々変わらず輝く

波辺 清美

冬休みもう終わりかと嘆く時宿題あるのをふと思いつく

塚谷 善介

年明けて今年はいよいよ受験生心いれ変え勉強するぞ

山田 拓郎

川柳(一年)

白銀の世界に踏み入れあと残す

小川 洋平

いろいろな思いを胸に春來たる

加賀谷 憲

元旦の初光が映る太平洋

張磨 慧祐

絶対の自信持っても五十点

福田 啓希

練習をするけど上達あまりなし

森 雄紀

寒空に凍れる雪と満月と

伊藤 匡忠

お年玉いっぱいほしくてお世辞言う

工藤麻起子

不景気でいくらあっても足りぬマネー

坂本 静香

窓の外白いじゅうたんしきつめた

中曽根知世

お年玉使わずがまん通報へ

平松 幸忠

春よ来い早くコートで打たたいよ

本木茉莉菜

かなしいな部活で終わる冬休み

柳田 梨奈

初日の出毎年見たいが夢の中

宇美 一輝

テロ事件旅路が延びたカナダへの

葛西 佑哉

お月見でうさぎモチつき僕が食う

鎌田 瑛浩

初夢をすっかり忘れて気になる日

菅野 友貴

冬の空遠檜のせへひきこまれ

野口 賢清

冬になり朝日に輝く霜柱

小川めぐみ

眠気など問答無用とテスト前

菊池 朋子

ふとんからなかなか出れぬ冬の朝

櫻庭 美佳

牛達は知っているかな狂牛病

鈴木友香里

青色のキャンバスに降る白い雪

滝下 恵

年明けて口にしたのは風邪薬

長谷川 唯

馬のよう新しい夢かけていく

吉田 亜弥

気分いたらあつという間に新年が

吉村 奈々

戦争をぼくらは終われと願うだけ

芦崎 彰

初春の雪おろしから事故多発

若狭 恭平

初もうてお金を投げて夢かなう

岩田 えり

しんしんと降る雪のかげ白い窓

柏 美沙

枚数が年々増える年賀状

川田 智美

川柳を考えてると指動く

菊谷 友美

世界中平和になるのはいつなのか

住山 明奈

かがみもちヒビ割れしたら学校だ

千葉 綾美

年明けて夜ふかし食べすぎくせになる

長谷 舞

どうしよう思いつかない五・七・五

難波麻里絵

不景気で最低記録お年玉

古館 隆子

お正月親のお金が減っていく

吉田 藍

春風の香りとともに鳥の声

吉田有公子



平成十三年度

教職員名簿

校長 佐野 武

教頭 高橋 登

教諭 越田 喜忠

大宅 剛

伊勢 健

笹谷 巖

笹原 五郎

渡辺 淳

鶴 宗三郎

阿部 真美

菊地 康幸

桑野 健一

佐藤 雅博

大山 裕香

山口 哲也

養護 武田 輝代

教諭 七宮 義通

輪島 陽子

講師 川尻 健二

相談員 今井 正夫

事務 相原 郁夫

用務 檜山 栄子

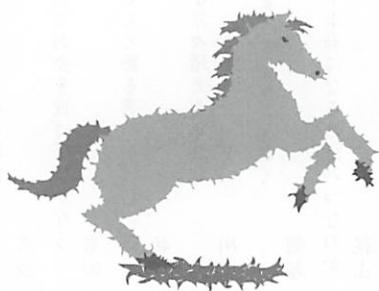
高野 雄二

山口 秀夫

稲垣 良子

給食 高島 優

日直 高島 優



編集後記

三年C組 藤 島 直 哉

皆さん、今年の生徒会誌「五稜」はいかがでしたか。この「五稜」には、今年度の五稜中学校の歩みや数々の思い出が詰まっています。そして、この「五稜」をつくったのは、編集委員だけでなく、五稜中の全校生徒だということをお忘れしないでほしいです。

これから三年生は、人生で最初の大きな壁とも言える「受験」へ向かって更に頑張っていかななくてはなりません。そして二年生は最学年となり、一年生も新入生の手本となるように中学生としての自覚を持たなくてはなりません。きつと何度も困難に出会い、その度に立ち向かっていかななくてはならないでしょう。そんな時は、この「五稜」を見てみてください。先輩たちがどのように困難を乗り越えてきたかが、なんとなくでもわかると思っています。それが自分への励ましとなってくれるでしょう。

今年の生徒会誌、「五稜」の制作に協力してくださった先生方や生徒のみなさん、ありがとうございます。この「五稜」が今後の生徒への「足跡」となってくれば幸いです。



編集委員

△三年▽

藤島直哉
寺内真
多田莉彩
石川洋平
大塚真衣
佐藤ありす
松田なぎさ
大内ももこ

△二年▽

伊藤祐樹
吉田幸博
片桐奈美
山田拓郎
高橋綾花
渡辺結衣
中西理沙
山田奈里美

△一年▽

野口賢清
木佐瑞紀



平成十三年度生徒会誌

「五 稜」 第41号

発行日 平成十四年三月十五日

発行 函館市立五稜中学校生徒会

印刷 有限会社 共立印刷

函館市吉川町六番六号

電話〇三〇四三一七六五〇



函館市立五稜中学校生徒会